



公益社団法人
日本学生陸上競技連合

会報

向上と進展



「令和4年度上半期の事業を終えて」

会長 松本 正之

日頃は日本学生陸上競技連合の運営に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この上半期も一昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の蔓延により、さまざまな制約の下での運営となりましたが、その間多くの関係各位のお力添えに改めて感謝申し上げます。

日本学連の機関運営の要となります会議の開催につきましては、4月の第52回理事会、5月の第53回理事会、6月の第14回定時社員総会および第54回理事会、9月の第55回理事会、また各理事会開催のための企画委員会の開催など、本連合の運営に関する協議や諸報告など、必要な議題を討議し、進めてまいりました。また、主催競技会につきましては4月に2022日本学生陸上競技個人選手権大会を、8月に秩父宮賜杯第62回実業団・学生対抗陸上競技大会、9月に入ってから天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会を3年ぶりとなる有観客で開催いたしました。

個人選手権では対校戦と異なり、個人の力が試される良い機会となりました。自己と向き合い、日頃の練習成果を遺憾なく発揮したことで大会新記録が続出しました。

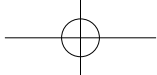
実業団・学生対抗では、日本選手権で活躍した選手やオレゴン世界陸上代表選手が多数出場し、学生競技者が学ぶことも多く大変有意義なものとなりました。実業団選手が明年のブダペスト世界陸上の参加標準記録を切る等、学生競技者にとってさらなる高みを目指すうえで大きな刺激となったことと思います。今後も実業団と共に、この競技会を通じてより多くの方に陸上競技に対する興味・関心を持っていただけるような、より良い大会にしていきたいと思います。

6月から7月にかけて中国・成都で開催予定でありましたFISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)は、残念ながら2年連続の延期となりました。明年この大会が開催され、日本人選手の活躍が見られることを祈念しております。

今年度の日本インカレはたけびしスタジアム京都にて開催され、暑さの中、数々の好記録が誕生する大会となりました。エントリー数が非常に多く、過密な競技日程となりましたが、運営に支障をきたすことなく大会を無事に終了することができました。これも関西学生陸上競技連盟、一般財団法人京都陸上競技協会の皆様のご協力の賜物であり、改めて深謝申し上げます。

10月からはいよいよ下半期に入り、各種駅伝、道路競技大会が開催予定であります。開催に向け、全国の学生競技者や応援して下さるファンのためにも、地元関係者の方々のご協力を得ながら、努力してまいりますので、学生競技者諸君の一層の競技力の向上を期待すると共に、関係各位のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念し、ご挨拶といたします。



公益社団法人 日本学生陸上競技連合

会報 第165号 (令和4年10月★日発行)

向上と進展

目 次

会長あいさつ 松本正之	1
【大会報告】	
2022オールスターナイト陸上	3
天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会	6
【会議等報告】	
第53回理事会 議事録	10
第14回定時社員総会 議事録	24
第54回理事会 議事録	26
【その他】	
競技委員会／総務委員会より	29
令和4年度会員について	30
賛助会員・募集／編集後記	31

【大会報告】

2022オールスターナイト陸上 (秩父宮賜杯第62回実業団・学生対抗陸上競技大会)

副幹事長 崎井 優希菜

1. 大会名：2022オールスターナイト陸上
(秩父宮賜杯第62回実業団・学生対抗陸上競技大会)

2. 大会期日：2022年8月6日(土)

3. 場 所：神奈川県 レモンガススタジアム平塚

4. エントリー数

学 生 57名(男子27名 OP参加4名、女子24名 OP参加2名)

実業団 57名(男子26名 OP参加5名、女子23名 OP参加3名)

5. 選手団役員

監督 山下 誠、男子コーチ 小倉 幸雄、

女子コーチ 黒須 雅弘

男子主将 岩崎 立来、女子主将 齋藤 真希

マネージャー 崎井 優希菜

6. 大会総括

令和4年8月6日(土)、レモンガススタジアム平塚にて、2022オールスターナイト陸上(秩父宮賜杯第62回実業団・学生対抗陸上競技大会)が開催されました。

3年ぶりの有観客となった今大会には、今夏のオレゴン世界陸上の男女混合4×400mリレーに出場した岩崎立来選手(大阪体育大)や中島佑気ジョセフ選手(東洋大)が出走し、大変華やかな大会となりました。

男子400mでは中島選手が圧巻の走りで大大会記録を更新しての優勝を果たしました。同種目ではウォルシュ・ジュリアン選手(富士通)も大会記録を更新

する走りを見せ、レベルの高いレースとなりました。男子三段跳では、昨年の日本インカレで日本学生記録を更新した伊藤陸選手(近畿大学工業高等専門学校)が安定した跳躍で優勝を飾りました。

女子400mでは、森山静穂選手(福岡大)、松尾季奈選手(立命館大)、高島咲季選手(青山学院大)の学生3人が表彰台を独占しました。リレー種目では、男女混合4×400mリレーを実施し、学生選手団からは森山選手、岩崎選手、松尾選手、メルドラム・アラン選手(東京農業大)が出走し、それぞれが実力を発揮して実業団チームに勝利しました。

総合得点では実業団チームが186点、学生チームが180点と及びませんでした。6点差に迫る熱い戦いとなりました。表彰としては、学生選手団からは男子400mで好走した中島選手が敢闘賞を、女子走幅跳で活躍を見せた高良彩花選手(筑波大)がMIP賞を獲得いたしました。最優秀選手賞は男女どちらも実業団選手となり、悔しい結果となりました。

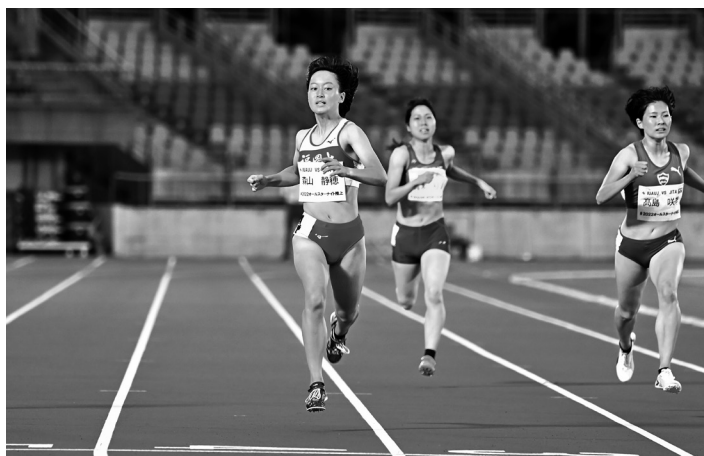
今年度も大会を無事に終了することができましたのは、神奈川陸上競技協会並びに平塚市の皆様のご尽力と関係各位のご支援、ご協力があったことと、深く感謝いたします。来年以降もより良い大会にするべく精進してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



実業団勢を相手に健闘した学生陣



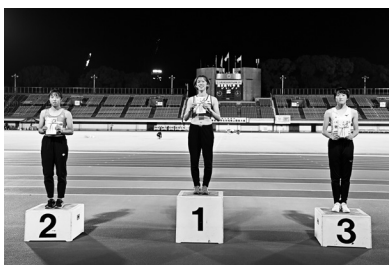
男子400mはオレゴン世界選手権4×400mリレー4位入賞メンバーが好勝負。4走・中島佑気ジョセフ（東洋大、左端）が自身初の46秒切りとなる45秒72（大会新）で、3走だったウォルシュ・ジュリアン（富士通、その右）に0.04秒差で競り勝った。中島は敢闘賞を受賞



女子400mは森山静穂（福岡大、左）が54秒99で制するなど表彰台を独占した。右は55秒70で3位の高島咲季（青山学院大）



男女混合4×400mリレーは3分22秒71で圧勝。写真は3走・松尾季奈（立命館大）から4走のメルドラム・アラン（東京農業大）へのバトンパス



6m28（-0.4）の好記録で女子走幅跳を制し、MIP賞を受賞した高良彩花（筑波大）

女子100mは青野朱李（山梨学院大、中央）が11秒63（+1.0）で制し、0.01秒差で三浦由奈（筑波大、左）が2位を占めた。右は11秒69で3位の鶴田玲美（南九州ファミリーマート）



男子400mHは陰山彩大（日本大）が49秒99でV。出口晴翔（順天堂大）も同タイム着差ありで2位に続いた



ただ1人16mを超える16m10（+1.2）で男子三段跳に快勝した伊藤陸（近畿大工業高専）



男子110mHで日本歴代2位、ブダペスト世界選手権参加標準記録を突破する13秒10（+0.6）をマークした高山峻野（ゼンリン）。右は13秒56で3位の横地大雅（法政大）。2位の豊田兼（慶應義塾大／写真外）が学生歴代3位の13秒44と好走した

第62回実業団・学生対抗 成績

8月6日 神奈川・レモンガススタジアム平塚

男 子

●100m(+0.5)

- ①デーデー・ブルーノ（セイコー） 10.21
- ②伊藤孝太郎（東京ガスエコム） 10.30
- ③野上 翼（京都教育大） 10.34
- ④梶川颯太（立命館大） 10.37
- ⑤染谷佳大（大和ハウス） 10.38
- ⑥林 拓優（日本体育大） 10.58

●400m

- ①中島佑気ジョセフ（東洋大） 45.72
- ②ウォルシュ・ジュリアン（富士通） 45.76
- ③メルドラム・アラン（東京農業大） 47.20
- ④渡邊楽久（BDP） 47.74
- ⑤松尾脩平（アスリートリンク） 48.50

●1500m

- ①飯島陸斗（阿見アスリートクラブ） 3:43.73
- ②高橋佑輔（北海道大） 3:44.44
- ③前田陽向（環太平洋大） 3:44.92
- ④館澤亨次（DeNA） 3:48.14
- ⑤片山直人（環太平洋大） 3:53.04

●110mH(+0.6)

- ①高山峻野（ゼンリン） 13.10
- ②豊田 兼（慶應義塾大） 13.44
- ③横地大雅（法政大） 13.56
- ④藤井亮汰（三重県スポ協） 13.57
- ⑤石川周平（富士通） 13.62
- ⑥小池 綾（法政大） 14.07

●400mH

- ①陰山彩大（日本大） 49.99
- ②出口晴翔（順天堂大） 49.99
- ③高田一就（ROOTS TOKYO） 50.02
- ④川越広弥（JAWS） 50.20

- ⑤米田太陽（日本体育大） 51.12
- ⑥山本竜大（SEKIA.C） 52.27

●走高跳

- ①真野友博（九電工） 2.24
- ②赤松諒一（アワーズ） 2.21
- ③坂井宏和（東海大） 2.15
- ④長谷川直人（新潟アルビレックスRC） 2.15
- ⑤藤井稜真（筑波大） 2.10
- ⑥土井颯馬（東京学芸大） 2.10

●三段跳

- ①伊藤 陸（近畿大工業高専） 16.10(+1.2)
- ②安立雄斗（福岡大） 15.92(+2.4)
- ③小田大雅（XPOSEAGULLS） 15.89(+2.5)
- ④小川宏海（富士電工） 15.78(+1.9)
- ⑤外村直之（東京学芸大） 15.43(+0.8)
- ⑥許田悠貴（アスリートリンク） 14.59(+2.7)

●砲丸投

- ①奥村仁志（国士館大） 17.48
- ②村上 輝（日本体育施設） 17.34
- ③池田大晟（鹿屋体育大） 17.01
- ④岩佐隆時（佐賀スポ協） 16.64
- ⑤羽生田智（MINT TOKYO） 15.97
- ⑥夏井勇輝（東海大） 15.67

●ハンマー投

- ①柏村亮太（ヤマダホールディングス） 70.10
- ②中川達斗（九州共立大） 69.73
- ③木村友大（ゼンリン） 66.27
- ④福田翔大（日本大） 66.13
- ⑤小田航平（九州共立大） 65.73
- ⑥北亦将成（箕島高教諭） 57.93

女 子

●100m(+1.0)

- ①青野朱李（山梨学院大） 11.63
- ②三浦由奈（筑波大） 11.64
- ③鶴田玲美（南九州ファミリーマート） 11.69
- ④城戸優来（福岡大） 11.73
- ⑤山中日菜美（Theodds） 11.81
- ⑥高橋明日香（パリュエンズ） 11.87

●400m

- ①森山静穂（福岡大） 54.99
- ②松尾季奈（立命館大） 55.29
- ③高島咲季（青山学院大） 55.70
- ④青木りん（東邦銀行） 56.70
- ⑤安田明日翔（KAGOTANI） 57.36

●100mH(+0.5)

- ①中島ひとみ（長谷川体育施設） 13.42
- ②大久保有梨（ユティック） 13.45
- ③本田 怜（順天堂大） 13.56
- ④相馬絵里子（関障障事） 13.62
- ⑤梶木菜々香（中央大） 13.72
- ⑥玉置菜々子（国士館大） 13.85

●400mH

- ①宇都宮絵鈴（長谷川体育施設） 58.02
- ②山本亜美（立命館大） 58.19
- ③梅原紗月（住友電工） 58.28
- ④横田華恋（KAGOTANI） 58.75
- ⑤辻井美緒（大阪教育大） 59.48
- ⑥工藤芽衣（立命館大） 61.22

●棒高跳

- ①諸田実咲（栃木県スポーツ協会） 4.20
- ②那須真由（KAGOTANI） 4.10
- ③大坂谷明里（園田学園女子大） 4.00

- ④前川 淳（東金沢整形外科クリニック） 4.00
- ⑤古林愛理（園田学園女子大） 3.90
- ⑥塩崎 泉（筑波大） 3.80

●走幅跳

- ①高良彩花（筑波大） 6.28(-0.4)
- ②嵯村 優（オリコ） 6.07(-0.4)
- ③竹内真弥（ミズノ） 6.00(+1.3)
- ④権瓶明日夏（ALSOK新潟） 5.92(+1.7)
- ⑤中尾優花（福岡大） 5.82(+0.9)
- ⑥下田有希（日本体育大） 5.73(+1.6)

●円盤投

- ①郡菜々佳（新潟アルビレックスRC） 56.29
- ②齋藤真希（東京女子体育大） 54.12
- ③川口紅音（ウィザース） 51.94
- ④荒野幸帆（日本体育大） 49.68
- ⑤大迫晴香（国士館大） 47.69
- ⑥藤森夏美（STAC千葉） 47.14

●やり投

- ①佐藤友佳（ニコニコのり） 54.22
- ②右代織江（新潟アルビレックスRC） 53.45
- ③亀井 桜（中央大） 51.73
- ④中村結香（九州共立大） 51.39
- ⑤高橋奈々（九州共立大） 47.93
- ⑥松井麻里弥（ライフバランス） 46.52

<男女混合>

●4×400mR

- ①学生 3:22.71
（森山，岩崎，松尾，メルドラム）
- ②実業団 3:27.37
（渡邊，梅原，高田，宇都宮）

【大会報告】

天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会

幹事長 公文 こころ

1. 大会名：天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会

2. 大会期日：2022年9月9日（金）～11日（日）

3. 場所：京都府・たけびしスタジアム京都

4. エントリー数：男子143校1403名
女子117校 954名

5. 主な競技結果

種目	記録	氏名	所属	学年	備考
女子走幅跳	6m 50	高良 彩花	筑波大	4	大会新記録
女子ハンマー投	62m 72	村上 来花	九州共立大	1	大会新記録
男子砲丸投	18m 06	奥村 仁志	国士舘大	4	大会新記録
女子円盤投	54m 72	齋藤 真希	東京女子体育大	4	大会新記録
女子200m	23秒 44	青野 朱李	山梨学院大	4	大会新記録

6. 大会総括

たけびしスタジアム京都にて、天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。西京極での開催は1953年の開催以来ぶり、有観客開催は3年ぶりとなり、関係者の皆様に多大なるご尽力をいただき無事に大会を開催することができました。自治体の感染症対策によって声を出しての応援は禁止となりましたが、スティックバルーンや応援うちわなど各大学の工夫が集団応援に凝らされ活気に溢れた大会となりました。

台風の接近が危ぶまれましたが、気象神社に参拝したおかげが晴天に恵まれた3日間となりました。今夏、オレゴンで開催された世界陸上に出場した中島

佑気ジョセフ（東洋大）や住所大翔（順天堂大）、村竹ラシッド（順天堂大）や学生記録保持者である伊藤陸（近畿大工業高専）、不破聖衣来（拓殖大）、船田茜理（武庫川女子大）などの注目選手が多数出場しました。

注目選手が予想通りの活躍を見せて選手権を獲得していき中、男子走高跳では山中駿（京都大）がこの種目では大学初の選手権を獲得し、男子走幅跳と男子三段跳では学生記録保持者の伊藤を僅差で抑えた安立雄斗（福岡大）が2冠を達成しました。女子100m、200mでは青野朱李（山梨学院大）が4年生の意地を見せて2冠を、女子走幅跳においても高良彩花（筑波大）が35年ぶりに大会新記録を更新しました。そして、今大会最大の盛り上がりを見せたのは男子4×400mリレーです。筑波大が昨年覇者の東洋大や早稲田大らとの争いからラスト50mで抜け出し、平成21年の第78回以来となる選手権獲得を果たしました。

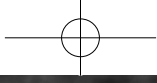
今大会は昨大会に引き続き順天堂大が天皇賜盃を、日本体育大が秩父宮妃杯を獲得し、5つの大会新記録が出るという充実した内容となりました。こうして無事に本大会を開催することができたのも、関係各位のご支援、ご協力があったことと、深く感謝する次第です。来年は関東圏にて第92回大会を開催いたします。今後ともご支援、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



68点を獲得して2年連続30回目の男子総合優勝を飾った順大



女子総合は77点を獲得した日体大が2年連続10回目の栄冠を手にした



最終日の4×400m R（アンカー・今泉堅貴、中央）は3分04秒43で13年ぶりの優勝を飾った



筑波大が男子リレー2冠を達成。4×100m R（左）は38秒86で3年ぶりV。3走の鶴澤飛羽（右から2人目）は200mも20秒54（+1.6）で制す



35年ぶり大会新、学生歴代5位となる6m50（+0.7）をジャンプして女子走幅跳に2連覇を飾った高良彩花（筑波大）



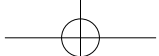
女子100m、200m2冠に輝いた青野朱季（山梨学院大）。100mは11秒64（+0.4）、写真の200mは学生歴代2位タイ、大会新の23秒44（-0.2）をマークした



今大会には2ヵ月前に行われたオレゴン世界選手権代表も出場。20km競歩で8位入賞を果たした住所大翔（順天堂大）が10000m競歩を39分53秒61で制し、貴録を示した。順天堂大勢は40分43秒46で2位に萬壽春輝、40分43秒63で3位に立岩和大（順天堂大）が続き、表彰台を独占

女子10000mは学生記録（30分45秒21）保持者の不破聖衣来（拓殖大2）が32分55秒31で快勝。昨年の5000mに続く選手権獲得





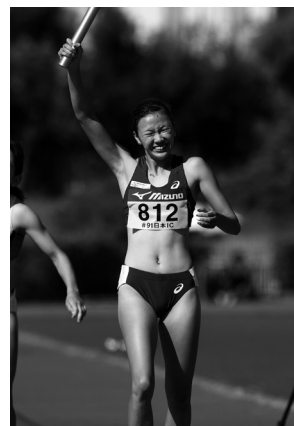
男子走幅跳、三段跳の2種目制覇を果たした
安立雄斗(福岡大)。記録は走幅跳が7m68
(+0.3)、三段跳が16m31(+0.6)



18年ぶり大会初の18m06で男子砲丸投を制
した奥村仁志(国士館大)



女子やり投は木村玲奈(新潟医療福祉大)が
学生歴代6位の59m49で制覇



女子4×400m Rは立命館大が3分38秒43で
2連覇を達成。アンカー・山本亜美は400m H
(57秒23)との2冠に輝く

第91回日本学生対校選手権 上位成績

9月9～11日 京都・たけびしスタジアム

男 子

●100m(+0.8)・10日

①宇野勝翔(順天堂大3)	10.36
②林 拓優(日本体育大M1)	10.37
③原田 暁(福岡大4)	10.38
④中村彰太(東洋大3)	10.42
⑤平野翔太(大東文化大4)	10.42
⑥前田拓夢(東洋大4)	10.46
⑦木下 直(福岡工業大3)	11.82

●200m(+1.6)・11日

①鶴澤飛羽(筑波大2)	20.54
②木村 稜(明治大3)	20.61
③三浦励央奈(早稲田大4)	20.76
④西 裕大(早稲田大3)	20.77
⑤山路康太郎(法政大4)	20.86
⑥藤澤瑠唯(岩手大2)	20.86
⑦高木 恒(近畿大4)	21.01
⑧松井健斗(関西大2)	21.16

●400m・9日

①中島佑気ジョセフ(東洋大3)	46.18
②友田真隆(東京理科大2)	46.57
③豊田 兼(慶應義塾大2)	46.69
④今泉堅貴(筑波大3)	46.79
⑤岩崎立来(大阪体育大4)	47.17
⑥竹内彰基(早稲田大3)	47.36
⑦中里将基(作新学院大4)	47.58
⑧有田詞音(九州共立大1)	49.91

●800m・11日

①松本純弥(法政大4)	1:48.28
②金子魅玖人(中央大3)	1:48.49
③山崎優希(広島経済大4)	1:48.60
④松本 駿(関西大4)	1:49.00
⑤石元潤樹(日本大2)	1:49.09
⑥二見優輝(筑波大2)	1:49.18
⑦前田陽向(環太平洋大1)	1:50.52
⑧安倍優紀(東海大3)	1:53.78

●1500m・9日

①飯澤平翔(東海大4)	3:45.33
②千守倫央(中央大4)	3:46.08
③中野倫希(中央大2)	3:46.23
④高橋佑輔(北海道大M1)	3:46.50
⑤近藤 亨(明治大4)	3:47.00
⑥山崎優希(広島経済大4)	3:47.48
⑦佐藤主汰(駒澤大1)	3:47.61
⑧廣澤優斗(日本体育大4)	3:48.16

●5000m・11日

①近藤幸太郎(青山学院大4)	13:50.37
②中西大翔(國學院大4)	13:53.40
③ジェームス・ムトゥク(山梨学院大1)	13:58.39
④吉居駿恭(中央大1)	13:59.21
⑤リーキー・カミナ(創価大2)	13:59.72
⑥花園寿哉(東海大1)	13:59.73
⑦丹所 健(東京国際大4)	14:04.05
⑧高槻芳宏(東京農薬大3)	14:07.52

●10000m・9日

①フィリップ・ムルファ(創価大4)	28:36.70
②ボニフェス・ムルファ(山梨学院大4)	28:38.37
③チャールズ・ドゥング(日本大4)	28:41.11
④亀田仁一路(関西大3)	28:49.45
⑤中村唯翔(青山学院大4)	28:51.55
⑥伊藤田達弥(順天堂大4)	28:58.45
⑦横田俊吾(青山学院大4)	29:02.22
⑧中山雄太(日本薬科大4)	29:05.35

●110m H(+0.7)・10日

①村竹ラッド(順天堂大3)	13.36
②藤原孝輝(東洋大2)	13.47
③横地大雅(法政大4)	13.57
④宮崎 匠(中央大3)	13.87
⑤小池 綾(法政大1)	13.91
⑥柞山真翔(国際武道大3)	14.00

⑦柴田竜生(日本体育大4)

●400m H・11日

①田中天智龍(早稲田大3)	49.20
②豊田 兼(慶應義塾大2)	49.76
③岡村州紘(日本大4)	50.09
④陰山彩大(日本大4)	50.23
⑤出口晴翔(順天堂大3)	50.29
⑥田中 壘(九州大4)	51.72
⑦黒川和樹(法政大3)	55.41
⑧小野寺将太(順天堂大M1)	1:50.32

●3000m S C・9日

①大吉優亮(帝京大3)	8:41.45
②黒田朝日(青山学院大1)	8:43.29
③山下悠河(青山学院大3)	8:46.43
④花谷そら(福岡大3)	8:47.55
⑤諸富 湧(早稲田大2)	8:49.58
⑥山口月暉(日本大1)	8:54.27
⑦松村匡悟(筑波大4)	8:54.92
⑧山崎 颯(順天堂大1)	8:56.86

●10000m W・11日

①住所大翔(順天堂大M1)	39:53.61
②萬壽春輝(順天堂大3)	40:43.46
③立岩和太(順天堂大M1)	40:43.63
④吉川胸太(東京学芸大3)	40:57.01
⑤村手光樹(東京学芸大4)	41:10.60
⑥濱西 諒(明治大4)	41:47.46
⑦石田理人(東洋大3)	42:44.95
⑧土屋温希(立命館大1)	42:48.35

●4×100m R・10日

①筑波大 (辰巳, 池田, 鶴澤, 齊藤)	38.86
②早稲田大 (三浦, 池淵, 澤, 西)	39.09
③東洋大 (前田, 柳田, 成島, 中村)	39.13
④東海大 (熊田, 愛宕, 下地, 小島)	39.33
⑤大東文化大 (深川, 守, 村松, 假屋)	39.43
⑥中央大 (藤, 藤原, 宮崎, 藤井)	39.49
⑦日本大 (森, 三田寺, 鈴木, 一瀬)	39.51
⑧順天堂大 (瀬尾, 森田, 宇野, 木梨)	39.62

●4×400m R・11日

①筑波大 (菅野, 吉川, 伊藤, 今泉)	3:04.43
②早稲田大 (眞々田, 新上, 藤好, 竹内)	3:04.79
③東洋大 (萩原, 川上, 新垣, 中島)	3:04.86
④法政大 (児玉, 富田, 松本, 地主)	3:06.31
⑤近畿大 (末長, 濱口, 西山, 竹内)	3:06.43
⑥駿河台大 (勝, 志賀, 杉田, 明石)	3:07.05
⑦城西大 (野中, 北澤, 森, 濱田)	3:07.08
⑧順天堂大 (矢口, 金田, 葛西, 出口)	3:07.53

●走高跳・10日

[2.05-2.10-2.15-2.18-2.18-2.16-2.14]	
①山中 駿(京都大2)	2.15
[- o o xxx x o]	
②坂井宏和(東海大3)	2.15
[o o o xxx x x]	
③土井颯馬(東京学芸大4)	2.10
[o o xxx]	
④藤井稜真(筑波大4)	2.10

[o o xxx]

①西山賢太郎(九州共立大3)	2.10
[o o xxx]	
②本田基偉(岐阜大3)	2.10
[- o xxx]	
③惠藤太晟(福岡大4)	2.10
[xo o xxx]	
④杉原哲平(福岡大2)	2.10
[o xo xxx]	
⑤永島将貴(福岡大3)	2.10
[o xo xxx]	

●棒高跳・9日

[4.80-5.00-5.10-5.20-5.30-5.40-5.45-5.50]	
①石丸颯太(順天堂大M2)	5.40
[- o o xo xo o xxx]	
②古澤一生(筑波大2)	5.30
[- o - o o xxx]	
③柄澤智哉(日本体育大2)	5.30
[- xo - o o xxx]	
④内山朋也(筑波大M2)	5.30
[o - xo xo xo xxx]	
⑤三戸田湧司(関西学院大4)	5.20
[- o o o xxx]	
⑥大崎洋介(日本体育大4)	5.20
[- xo xxx]	
⑦小林拓己(育英大3)	5.10
[o xo xxx]	
⑧水谷 寛(福岡大2)	5.10
[xo o o xxx]	

●走幅跳・9日

①安立雄斗(福岡大4)	7.68(+0.3)
[7.44(+0.3) 7.68(+0.3) 7.61(+0.7) × 7.67(+0.4) ×]	
②松本 陸(信州大4)	7.64(+0.9)
[7.64(+1.8) × 7.54(-0.2) 7.60(+0.6) 7.64(+0.9) ×]	
③植木雄大(大阪公立大3)	7.64(+0.3)
[7.45(+0.1) × 7.64(+0.3) × 7.46(+0.9) 7.62(+0.6)]	
④海峰泰輝(日本大4)	7.62(+1.7)
[7.33(-0.1) 7.62(+1.7) 7.26(-0.7) 7.30(+0.6) 5.78(+0.9) 7.27(+0.2)]	
⑤葛西佑吹(鹿屋体育大3)	7.57(+0.6)
[7.46(-0.1) 7.57(+0.6) 6.97(+0.1) × 7.37(+0.1)]	
⑥宮部灯哉(順天堂大2)	7.51(-0.2)
[7.33(-0.1) 7.47(+0.6) 7.51(-0.2) × 7.40(+0.8) 7.25(+0.4)]	
⑦大貫翔哉(日本経済大2)	7.51(+0.6)
[× 7.51(+0.6) 7.27(-0.5) 7.29(+0.6) 7.20(+0.3) ×]	
⑧藤田匠海(立命館大4)	7.50(+1.7)
[7.50(+1.7) 7.49(+1.3) 7.12(+0.5) 7.35(+0.8) 7.37(±0) 7.25(+0.4)]	

●三段跳・11日

①安立雄斗(福岡大4)	16.31(+0.6)
[15.26(+1.4) 13.71(-2.1) 16.31(+0.6) 16.04(-0.4) 16.18(+1.3) 16.13(+0.2)]	
②伊藤 陸(近畿工業高専2)	16.30(+1.0)
[15.77(+0.3) 16.30(+1.0) × × 16.13(+0.8)]	
③松下悠太郎(福岡大4)	16.12(+1.3)
[× 15.83(+0.7) × 15.74(+0.4) × 16.12(+1.3)]	
④鈴木憲伸(明治大4)	16.07(+0.4)
[15.53(+1.8) × 15.93(±0) 13.20(-0.8) 16.07(+0.4) 15.93(+0.3)]	
⑤廣田麟太郎(日本大2)	15.87(+0.8)
[15.66(+1.8) 13.67(-0.3) 14.00(+0.9) × 15.73(+1.1) 15.87(+0.8)]	
⑥梅野真生(関西大2)	15.87(+1.6)

[14.47(+0.6) 15.87(+1.6) ×

× × 15.55(+0.9)]	
⑦外村直之(東京学芸大4)	15.81(+1.2)
[15.62(+1.4) 15.80(+2.2) 15.32(+1.6) × 15.37(+0.3) 15.81(+1.2)]	
⑧水野皓太(鹿屋体育大3)	15.73(-0.4)
[× 15.73(-0.4) × × r]	

●砲丸投・10日

①奥村仁志(国士館大4)	18.06=大会新 [× 18.06 × 18.05 × 17.88]
②アツオビン・ジェイソン(福岡大2)	17.51
[17.49 × 17.51 17.17 17.20 17.42]	
③國司裕通(日本大4)	17.03
[16.53 17.03 × × 16.83 16.99]	
④佐野拓人(流通経済大M2)	16.27
[16.27 16.16 × × × 16.23]	
⑤福田翔太(日本大4)	16.20
[15.12 16.20 15.84 15.72 16.16 16.04]	
⑥稻福 颯(中央大4)	16.05
[× 16.05 × 15.93 15.96 ×]	
⑦池田大晟(鹿屋体育大3)	16.02
[14.90 × 16.02 × × ×]	
⑧夏井勇輝(東海大4)	15.72
[15.64 14.60 15.72 15.72 × 15.71]	

●円盤投・10日

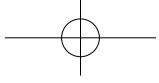
①山下航生(九州共立大4)	52.94
[47.48 49.90 52.94 50.66 × 52.06]	
②飛川龍雅(東海大M1)	52.08
[51.18 51.08 × × 52.08 ×]	
③藤原孝史朗(九州共立大3)	50.86
[× 49.27 50.86 50.13 50.20 50.07]	
④中野真澄(新潟医療福祉大3)	50.55
[47.24 46.08 48.01 48.88 50.55 49.52]	
⑤三田糖貴(四国大4)	50.43
[49.51 48.95 50.43 48.64 49.13 49.27]	
⑥佐藤 慧(東海大4)	49.32
[48.00 × 49.32 45.28 43.69 47.46]	
⑦濱口泰河(日本体育大2)	48.34
[47.11 45.59 46.39 × 48.34 ×]	
⑧山本真也(国士館大4)	47.01
[45.29 47.01 × 45.54 × ×]	

●ハンマー投・9日

①中川達斗(九州共立大M2)	71.39
[68.41 69.41 70.74 69.68 71.39 71.25]	
②福田翔太(日本大4)	70.09
[67.60 67.52 67.01 70.09 × 68.05]	
③小田航平(九州共立大M1)	67.17
[× 67.17 66.14 66.72 66.86 ×]	
④佐々木秀士(岐阜協立大4)	66.75
[65.16 65.88 65.85 65.68 66.75 65.20]	
⑤垂井祐志(四国学院大1)	64.19
[62.90 58.41 58.41 × × 64.19]	
⑥迫田力哉(日本大2)	63.94
[61.37 63.09 63.94 × 61.53 62.17]	
⑦山川凜心(中央大3)	63.69
[59.75 61.40 63.69 61.79 × 60.81]	
⑧石坂奨真(順天堂大4)	63.52
[61.05 × 63.15 62.89 63.52 ×]	

●やり投・9日

①鈴木 凜(九州共立大2)	72.15
[68.17 72.15 69.58 68.53 67.19 64.16]	
②福岡 駿(順天堂大4)	72.07
[59.48 66.43 72.07 59.42 62.44 57.88]	
③山田隼人(九州共立大2)	71.72
[63.14 63.27 68.12 64.20 71.72 60.63]	
④秦 康太(大阪体育大4)	71.46
[71.46 × 71.39 70.67 × 68.18]	
⑤谷川 颯(日本大3)	69.63
[68.08 69.19 68.07 × 69.63 68.72]	
⑥吉野孝圭(九州共立大2)	68.56



[67.05 65.30 68.56 65.39 68.39 67.05]
⑦水落慶吾 (金沢大3) 68.22
[61.70 58.59 68.22 64.53 68.05 67.90]
⑧櫻井優真 (環太平洋大4) 67.90
[67.90 61.28 × × × 61.18]

●十種競技・9～10日

①川元莉花 (立命館大3) 7286
[10.00(+0.7)-7.01(±0)-12.25-1.85-49.12
/ 15.00(-0.3)-37.04-4.10-57.61-4.47.03]
②小坪聖人 (富山大M2) 7116
[10.60(+0.7)-7.10(±0)-11.66-1.85-48.72
/ 15.80(-0.3)-29.87-4.30-48.67-4.35.77]
③清水将貴 (東京学芸大3) 7098
[10.86(+0.2)-7.00(-0.5)-11.07-1.90-49.55
/ 15.24(+0.6)-31.07-4.20-45.26-4.22.52]
④森口諒也 (東海大M2) 7089
[11.05(+0.7)-6.83(-0.8)-11.65-1.80-50.32
/ 14.65(-0.3)-32.44-4.30-54.78-4.44.69]
⑤北川篤人 (国士館大4) 7069
[10.93(+0.7)-6.81(-0.5)-12.03-1.85-50.07
/ 15.10(+0.1)-34.77-4.40-53.73-4.53.16]
⑥前川啓幸 (中央大M1) 7049
[11.11(+0.2)-6.20(±0)-12.11-1.80-50.67
/ 15.19(+0.1)-34.41-4.50-62.55-4.45.84]
⑦山下朋紀 (日本大3) 7003
[10.92(+0.7)-6.62(+1.4)-10.48-1.85-50.30
/ 14.33(-0.3)-32.04-4.30-50.60-4.28.68]
⑧柴田一瞬 (順天堂大M2) 6952
[10.90(+0.3)-6.83(-0.1)-11.19-1.85-49.54
/ 15.17(+0.1)-30.29-4.20-50.06-4.41.48]

女子

●100m(+0.4)・10日
①青野朱季 (山梨学院大4) 11.64
②石室陽奈 (環太平洋大2) 11.66
③城戸優来 (福岡大3) 11.75
④青山華依 (甲南大2) 11.78
⑤三浦由奈 (筑波大3) 11.85
⑥三浦愛華 (園田学園女子大3) 11.97
⑦田路遙香 (中央大3) 12.02
⑧喜岐あいて (立命館大4) 12.12
●200m(-0.2)・11日
①青野朱季 (山梨学院大4) 23.44
=大会新
②井戸アビゲイル風果 (甲南大3) 23.80
③森山静穂 (福岡大3) 23.94
④城戸優来 (福岡大3) 24.16
⑤奥野由萌 (甲南大1) 24.20
⑥田島美香 (福岡大4) 24.38
⑦三浦由奈 (筑波大3) 24.43
⑧安達来鈴 (園田学園女子大2) 24.51

●400m・9日

①森山静穂 (福岡大3) 53.62
②安達来鈴 (園田学園女子大2) 53.65
③大島愛梨 (中央大4) 54.78
④高島咲季 (青山学院大3) 55.52
⑤松尾季奈 (立命館大4) 55.61
⑥須藤美桜 (日本体育大3) 55.83
⑦井戸アビゲイル風果 (甲南大3) 55.87
⑧熊谷遙来 (法政大3) 56.89

●800m・11日

①山口 光 (順天堂大4) 2.06.71
②ヒリアー紗璃音 (青山学院大3) 2.07.71
③原 華澄 (大阪体育大3) 2.07.76
④渡辺 愛 (園田学園女子大2) 2.08.02
⑤窪 美咲 (東大阪大3) 2.09.03
⑥川島美桜 (筑波大2) 2.09.30
⑦細井鈴菜 (慶應義塾大4) 2.10.27
⑧長谷川麻央 (京都教育大1) 2.11.49

●1500m・9日

①小野沙音 (順天堂大4) 4.22.75
②尾方唯利 (日本体育大2) 4.22.95
③牛 佳慧 (拓殖大4) 4.23.88
④金澤子奈 (東北福祉大4) 4.24.98
⑤小暮真緒 (順天堂大2) 4.25.28
⑥廣田百世 (富山大3) 4.25.28
⑦柳樂あずみ (名城大1) 4.26.95
⑧大河原萌花 (名城大1) 4.27.63
●5000m・11日
①山本有真 (名城大4) 16.10.17
②村松 灯 (立命館大2) 16.14.81
③尾方唯利 (日本体育大2) 16.15.54
④保坂晴子 (日本体育大3) 16.17.43
⑤小松優衣 (松山大4) 16.18.20
⑥永長里緒 (大阪体育大2) 16.20.86
⑦谷本七星 (名城大2) 16.21.99
⑧嶋田桃子 (日本体育大2) 16.23.04

●10000m・9日

①不破聖衣来 (拓殖大2) 32.55.31
②原田紗希 (名城大1) 32.59.65
③飛田凜香 (立命館大4) 33.13.44
④黒田 滯 (日本体育大4) 33.29.63
⑤小林成美 (名城大4) 33.32.91
⑥小松優衣 (松山大4) 33.45.07
⑦北川星瑠 (大阪芸術大3) 34.02.06
⑧永長里緒 (大阪学院大2) 34.08.30

●100mH(-0.4)・10日

①田中きよの (駿河台大3) 13.44
②本田 怜 (順天堂大3) 13.44
③芝田愛花 (環太平洋大4) 13.55
④長崎さゆり (青山学院大3) 13.57
⑤手塚麻衣 (富山大3) 13.57
⑥五百蔵美希 (日本大5) 13.58
⑦安藤愛未 (至学館大2) 13.68
⑧玉置菜々子 (国士館大4) 13.84
●400mH・11日
①山本亜美 (立命館大2) 57.23
②松岡晴絵 (中央大2) 57.74
③有田安紗季 (青山学院大4) 58.42
④辻井美緒 (大阪教育大4) 58.48
⑤青木穂花 (青山学院大3) 59.11
⑥川村優佳 (早稲田大3) 59.20
⑦高野七海 (福岡大3) 59.26
⑧益子芽里 (中央大1) 59.95

●3000m S C・10日

①齋藤みう (日本体育大2) 10.14.26
②小松夕夏 (筑波大1) 10.20.29
③赤堀かりん (日本体育大4) 10.21.33
④本庄悠紀奈 (筑波大4) 10.29.66
⑤大西夏帆 (聖徳大4) 10.38.99
⑥龜岡花凜 (拓殖大1) 10.43.01
⑦矢治瑞璃奈 (東京女子体育大4) 10.44.57
⑧中根美咲 (東北福祉大4) 10.46.87

●10000m W・10日

①梅野梓子 (順天堂大2) 47.10.31
②内藤未唯 (神奈川大2) 47.11.51
③井上優会 (金沢学院大1) 47.20.26
④柳井綾音 (立命館大1) 47.40.19
⑤玉利朱音 (東京学芸大4) 47.50.18
⑥中村綾花 (日本体育大1) 47.56.37
⑦杉林 歩 (大阪大3) 48.01.28
⑧下岡仁美 (同志社大3) 48.07.06

●4×100m R・10日

①福岡大 44.93
(伊藤, 森山, 城戸, 田島)
②環太平洋大 45.30
(芝田, 前川, 石堂, 清水)
③日本体育大 45.35
(田中, 工藤, 広沢, 高橋)
④山梨学院大 45.98
(渡邊, 阿部, 青野, 大野)
⑤立命館大 46.07
(角, 永石, 榎本, 臼井)
⑥園田学園女子大 46.09
(杉村, 三浦, 昌, 安達)
⑦中央大 46.13
(加藤, 佐藤, 深澤, 田路)
⑧青山学院大 46.21
(福田, 高島, 倉橋, 丸尾)

●4×400m R・11日

①立命館大 3.38.43
(松尾, 工藤, 吉岡, 山本)
②園田学園女子大 3.39.23
(安藤, 齊藤, 昌, 安達)
③中央大 3.39.63
(高島, 松岡, 大島, 佐藤)
④福岡大 3.39.67
(森山, 城戸, 田代, 高野)
⑤青山学院大 3.40.27
(ヒリアー, 金子, 青木, 高島)
⑥法政大 3.41.13
(中野, 川中, 佐藤, 熊谷)
⑦日本体育大 3.42.00
(佐々木, 森山, 宮武, 須藤)
⑧甲南大 3.43.17
(平野, 橋爪, 井戸, 下村)

●走高跳・10日

[1.65-1.70-1.73-1.76-1.79-1.81]
①諸隈あやな (日本女子体育大3) 1.79
[o o x o x o o x x x]
②和田真琉 (大阪体育大4) 1.76
[o o o x o x x x]
③松本万鈴 (甲南大3) 1.73
[o o o x x x]
④小野惠蓮 (東海大4) 1.73
[o o x o x x x]
⑤伊藤 楓 (日本体育大1) 1.73
[o o x o x x x]
⑥山田るな (東京女子体育大4) 1.70
[o o x x x]
⑦林 七実 (甲南大1) 1.70
[o o x x x]
⑧井上紗耶加 (順天堂大3) 1.70
[o o x x x]
⑨八重樫澄佳 (筑波大2) 1.70
[o o x x x]

●棒高跳・9日

[3.50-3.70-3.80-3.90-4.00-4.10-4.15]
①古林愛理 (園田学園女子大2) 4.10
[- o o x o o x x x]
②大坂谷里里 (園田学園女子大2) 3.90
[- o o o x x x x]
③台信 愛 (日本体育大3) 3.80
[- o o x x x]

●山本亜希 (大分大4) 3.80
[- o o x x x]
③角田ルアニィ (慶應義塾大4) 3.80
[- x o x o x x x]
⑥若松亜美 (北海道教育大3) 3.80
[o o x x o x x x]
⑦森 陽菜 (園田学園女子大3) 3.70
[x o o x x x]
⑧塩崎 泉 (筑波大4) 3.70
[- x o x x x]
⑨高橋美智子 (東京女子体育大2) 3.70
[o x o x x x]
⑩若林人生 (福岡大1) 3.70
[o x o x x x]
●走幅跳・9日
①高良彩花 (筑波大4) 6.50(+0.7)
=大会新

[6.24(+1.0) × 6.37(+1.9)
6.50(+0.7) 6.07(+0.1) 6.34(+1.6)]
②藤田和音 (日本女子体育大M2) 6.06(+1.6)
[5.98(+0.5) × ×
6.06(+1.6) × ×]
③下田有希 (日本体育大3) 6.03(+0.6)
[5.92(+1.6) 5.85(+0.9) 6.03(+0.6)
5.90(+1.2) × ×]
④吉岡里紗 (中央大3) 6.00(+2.0)
[6.00(+2.0) 5.77(+0.9) 5.58(+1.2)
× 5.77(+1.3) 5.83(+0.4)]
⑤小玉葵水 (東海大北海道4) 5.99(+1.3)
[5.81(+1.1) 5.95(+1.4) 5.94(+0.8)
5.99(+1.3) 5.98(+1.2) 5.88(+1.2)]
⑥岩坂真弥 (日本女子体育大4) 5.99(+1.4)
[5.77(+1.6) 5.94(+2.0) 5.99(+1.4)
× × 5.94(+1.4)]
⑦北田莉亜 (関西学院大3) 5.99(+1.0)
[5.99(+1.0) × 5.90(+1.7)
5.81(+1.0) 5.86(+1.5) 5.86(+2.0)]
⑧中尾優花 (福岡大1) 5.89(+1.3)
[5.89(+1.3) 5.70(+0.7) 5.89(+1.6)
5.81(+1.4) × 5.88(+1.3)]

●三段跳・10日

①船田西理 (武庫川女子大4) 13.56(+1.0)
[13.17(+2.4) 13.36(+0.1) 13.56(+1.0)
13.35(+0.9) × ×]
②高良彩花 (筑波大4) 13.14(+1.0)
[× 12.83(+1.6) 12.82(+0.8)
12.89(+0.6) 13.14(+1.0) 12.74(-0.2)]
③岸野美雨 (武庫川女子大4) 13.06(-0.1)
[12.41(+0.4) 12.66(+0.1) 12.82(+0.4)
12.65(-0.5) 12.87(+0.6) 13.06(-0.1)]
④齋藤 遥 (武庫川女子大M1) 12.95(+0.5)
[× 12.36(±0) 12.81(+0.6)
12.70(+1.3) × 12.95(+0.5)]
⑤宮口愛子 (日本体育大4) 12.63(+0.5)
[12.63(+0.5) × 12.00(+1.0)
× × 12.01(+0.2)]
⑥廣瀬桃奈 (園田学園女子大4) 12.59(+0.5)
[12.59(+0.5) × ×
× 12.58(+1.6) 12.05(+0.2)]
⑦佐伯舞子 (筑波大3) 12.57(+1.3)
[× 12.55(+2.6) 12.35(+1.8)
12.57(+1.3) × 12.28(+0.5)]
⑧中村紗華 (順天堂大M1) 12.50(+0.7)
[× 12.50(+0.7) × ×
× × × ×]

●砲丸投・11日

①大野史佳 (埼玉大4) 15.62
[14.22 14.97 15.06 15.12 15.62 15.34]
②小山田美由子 (日本大4) 15.53
[15.53 × × × 15.21]
③久保田亜由 (九州共立大3) 15.16
[14.40 14.22 × 14.73 14.22 15.16]
④廣島愛亜梨 (日本大3) 14.87
[13.61 14.25 14.73 14.60 14.87 14.52]
⑤大谷夏稀 (福岡大4) 14.37
[× × 14.37 × × ×]
⑥田中杏実 (九州共立大1) 14.11
[13.73 13.76 14.00 × 13.87 14.11]
⑦秋山愛莉 (福岡大3) 14.11
[14.11 × × × 13.20 13.90]
⑧若本真波 (大阪体育大3) 13.89
[13.89 × 13.27 13.63 × 13.53]

●円盤投・10日

①齋藤真希 (東京女子体育大4) 54.72
=大会新
[53.27 52.64 54.14 × 54.72 53.58]
②菊池聖奈 (日本大3) 47.24
[45.60 44.32 47.24 42.58 44.75 45.85]
③中瀬綺音 (大阪体育大3) 46.92
[43.18 42.58 44.20 43.83 44.59 46.92]
④西山藍那 (筑波大3) 46.82
[46.68 43.83 46.78 42.30 × 46.82]
⑤大迫晴香 (国士館大4) 45.75
[45.75 45.06 44.39 42.61 44.89 45.09]
⑥アヒンブル・ティナ (筑波大M1) 45.13
[40.75 42.87 44.31 42.15 42.78 45.13]
⑦城間歩和 (九州共立大4) 45.01

[43.37 44.83 44.41 45.01 44.89 43.95]
⑧安達芽衣 (日本体育大4) 43.91
[41.18 43.79 43.91 43.44 43.53 41.29]

●ハンマー投・9日

①村上来花 (九州共立大1) 62.72
=大会新
[61.76 61.75 60.98 61.25 62.72 ×]
②渡邊ももこ (筑波大4) 61.15
[53.07 56.54 57.25 58.47 × 61.15]
③西村 南 (京都産業大3) 59.17
[57.03 59.17 54.92 53.74 57.60 ×]
④奥村梨里佳 (九州共立大3) 59.00
[56.55 57.54 57.24 × × 59.00]
⑤勝治玲海 (九州共立大3) 57.70
[× 57.70 57.56 × × 53.83]
⑥中務真衣 (東海大4) 56.53
[55.47 55.85 54.69 × 55.17 56.53]
⑦奥井小晴 (立命館大4) 55.31
[55.30 50.60 52.53 55.31 54.90 51.08]
⑧五十川利心 (大阪体育大3) 55.30
[× 55.30 53.04 × × ×]

●やり投・10日

①木村玲奈 (新潟医療福祉大3) 59.49
[51.54 51.05 59.49 50.00 51.96 -]
②辻萌々子 (九州共立大1) 54.62
[53.44 54.62 51.79 53.29 54.23 51.67]
③平松委穂里 (鹿屋体育大2) 53.82
[51.03 52.32 47.90 53.82 53.16 49.13]
④兵藤秋穂 (筑波大M1) 53.23
[53.23 52.52 50.28 50.75 51.77 47.47]
⑤中村 怜 (東大阪大2) 52.95
[52.23 52.95 51.04 52.58 50.95 50.91]
⑥村上碧海 (日本体育大1) 52.52
[× 49.38 51.40 52.52 × ×]
⑦中村結香 (九州共立大4) 52.45
[49.33 48.94 50.86 48.63 51.83 52.45]
⑧河田菜緒 (福岡大4) 52.38
[49.62 51.41 50.75 44.36 52.15 52.38]

●七種競技・10～11日

①田中友梨 (至学館大3) 5506
[14.36(+0.7)-1.55-11.58-25.46(+0.8)
/ 5.99(+0.9)-51.31-2.21.01]
②榎木菜々香 (中央大4) 5462
[13.49(+0.7)-1.50-9.75-24.91(+0.8)
/ 5.73(+0.2)-49.28-2.24.19]
③松下美咲 (中央大2) 5277
[13.81(+0.7)-1.66-10.60-25.37(+0.8)
/ 5.64(+1.6)-33.53-2.24.83]
④安達杏香 (武庫川女子大M1) 5038
[14.14(+0.7)-1.55-10.14-25.38(+0.8)
/ 5.31(+0.9)-37.60-2.25.96]
⑤前田椎南 (九州共立大4) 5024
[14.39(+0.2)-1.60-9.93-26.31(-0.5)
/ 5.53(+0.2)-37.37-2.26.06]
⑥濱口実玖 (国士館大3) 4951
[14.98(+0.2)-1.60-11.71-27.14(-0.5)
/ 5.35(+2.1)-41.63-2.31.59]
⑦水落ら (国士館大4) 4903
[14.30(+0.7)-1.72-9.72-26.38(-0.5)
/ 5.50(+1.9)-30.17-2.34.85]
⑧竜門千佳 (日本体育大4) 4873
[14.73(+0.7)-1.50-10.67-26.68(+0.8)
/ 5.28(+0.5)-44.69-2.32.02]

男子

【総合得点】
1)順天堂大 68 2)日本大 61
3)筑波大 50.5 4)九州共立大 50.5
5)福岡大 44.5 6)早稲田大 40
7)東海大 40 8)東洋大 37
【トラック】
1)順天堂大 48 2)早稲田大 40
3)東洋大 37 4)筑波大 39
5)中央大 3 6)法政大 24
7)青山学院大 27 8)日本大 26
【フィールド】
1)九州共立大 49.5 2)福岡大 33.5
3)日本大 34 4)順天堂大 19
5)東海大 18 6)筑波大 16.5
7)日本体育大 11 8)国士館大 9

女子

【総合得点】
1)日本体育大 77 2)筑波大 59.83
3)福岡大 51.33 4)園田学園女子大 46
5)立命館大 45 6)中央大 42
7)九州共立大 41 8)順天堂大 37.5
【トラック】
1)日本体育大 52 2)立命館大 43
3)福岡大 43 4)順天堂大 35
5)青山学院大 32 6)園田学園女子大 26
7)名城大 24 8)中央大 24
【フィールド】
1)筑波大 38.83 2)九州共立大 37
3)日本体育大 24 4)園田学園女子大 20
5)武庫川女子大 19 6)日本大 19
7)日本女子体育大 18 8)大阪体育大 15

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第53回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和4年5月14日(土) 16時00分から17時53分まで

2. 開催された方法

Zoomによるオンライン会議

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 18名

(出席) 有吉 正博、植田 恭史、岡崎 朋美、
片平 誠人、蒲原 一之、木下 澄雄、
工藤 洋治、黒須 雅弘、三條 俊彦、
渋谷 俊浩、障子 恵、鶴崎 健一、
永井 純、長澤 光雄、日隈 広至、
外園 隆、松本 正之、山下 誠

(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹

(欠席) 伊東 輝雄、栗山 佳也、杉山 喜一、
関根 春幸

(オブザーバー) 岡田 晃、河野 匠

5. 議 題

【協議事項】

第1号議案：令和3年度事業報告及び決算について

第2号議案：令和4年度会員入会の承認(正会員/
名誉会員)について

第3号議案：令和4、5年度次期理事候補者、参与
推薦について

第4号議案：令和4、5年度専門委員会委員について

第5号議案：定時社員総会の開催について

第6号議案：・第91回日本インカレ標準記録
・第91回日本インカレ入場料金

第7号議案：FISU ワールドユニバーシティゲームズ
(2021/成都) 内定者の取り扱いについて

第8号議案：その他

【報告事項】

①会務の報告(令和4年3月5日以降)

②各主催大会等の状況について

③その他

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を確認した。

(2)議長及び議事録署名人の選出

松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事となった。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案【令和3年度事業報告及び決算について】

永井純専務理事より令和3年度事業報告及び決算の承認について提案があり、資料に基づき説明があった。

2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策に迫られた1年であった。主催競技会は松江レディースハーフマラソンが中止となった以外はほぼ計画通りに実施され大きな成果となった。

立川ハーフマラソン及び全日本能美競歩はFISU ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)(以下WUG)の代表選手選考競技会として開催され、それぞれ男子3名が日本代表選手に内定した。

育成事業において海外派遣事業(台北、香港、ナイメーヘン)は中止。指導者会議は「指導者や競技者等のコンプライアンスについて考える」をテーマにWeb会議システムにより開催した。

続いて大西清司事務局長より資料に基づき令和3年度収支決算について説明があった。

別紙資料に詳細な説明を記載する。

(収支決算書について)

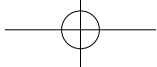
普通会員の増加、個人選手権再開によるエントリー料、日本インカレのエントリー数増加により事業活動収益は対前年4,689,730円増。事業活動支出においては個人選手権、実学対抗、出雲駅伝の再開に伴う旅費や食糧費等の支出が増えたことにより対前年10,699,981円増となり、収支としては117,226円の赤字決算となった。

(貸借対照表について)

【資産の部】合計212,955,776円

〈流動資産〉115,337,776円増(対前年比4,572,454円増)

〈固定資産〉基本財産35,000,000円(対前年比増減なし)



〈特定資産〉特定の目的のために保有する資産
62,562,000円(対前年比2,000,000円減)

- 1, 退職給付引当資産: 680万円(60万円積み立て)
- 2, 賞与引当資産: 962,000円(962,000円積み立て)
- 3, ユニバーシアード派遣事業積立資産: 500万円(増減なし)
- 4, 国際交流積立資産: 800万円(増減なし)
- 5, 日本インカレ90回記念大会積立資産: 0円(310万円取り崩し)
- 6, 競技会事業引当資産: 3200万円(増減なし)
- 7, 世界大学クロカン派遣積立資産: 400万円(増減なし)
- 8, 海外ロードレース遠征積立資産: 330万円(増減なし)
- 9, 創立100周年積立資産: 250万円(50万円積み立て)

【負債の部】合計49,486,012円

2021年度末における正味財産は163,469,764円(対前年比117,226円減)。

(正味財産増減計算書について)

【経常収益】

○普通会員は対前年比341名増、受取会費全体では対前年比495,800円増。

○事業収益

- ・受取協賛金: 6,041,491円増加 出雲駅伝再開、WUGなし
- ・受取参加料: 3,512,600円増加 個人選手権再開、日本インカレ参加者増加
- ・受取広告料: 506,000円減少 日本インカレの広告料減収
- ・受取助成金: 4,809,304円減少 前回日本インカレ(新潟)の助成金が多かったことによる。個人選手権のJSC助成金は復活。

【経常費用】

公益法人認定時の配賦基準に基づいて管理費(職員給与手当、退職給付費用、賞与引当金繰入額、福利厚生費、水道光熱費、賃借料等)を事業費へ一定の割合で配賦し、事業費に加算して決算案を作成。事業費における主な勘定科目を説明。

- ・旅費交通費: 5,296,163円増加 主催競技会の再開や派遣人数が増加したことによる
- ・通信運搬費: 1,205,185円増加 個人選手権再開、実学再開等
- ・印刷製本費: 1,118,881円増加 個人選手権再開
- ・食糧費: 1,998,713円増加 個人選手権再開、前回

日本インカレ(新潟)より増加

- ・賃借料: 1,400,192円減少 前年度立川ハーフを独自開催したことによる
- ・表彰費: 1,099,708円減少 本来計上すべき新記録の褒賞金を支払負担金に計上
- ・支払負担金: 5,496,910円増加 新記録の褒賞金を計上。個人選手権再開、実学再開
- ・委託費: 1,500,189円減少 日本インカレにおける感染症対策経費の減少。場内映像オペレーション、ライブ配信の経費減
- ・雑費: 1,437,073円減少 前年度世界大学クロカン辞退の権利金処理による

(正味財産増減計算書内訳表について)

正味財産増減計算書内訳表は、2021年度の公益目的事業＝公1事業(競技会)、公2事業(育成)、公3事業(調査研究)と法人会計(管理費)のそれぞれ各事業の収支内訳(管理費の配賦作業後)を示している。公益目的事業の収支は赤字を求められているが、指導のとおり赤字を計上する結果となった。

⇒△11,982,748円

続いて、山本俊樹監事より4月27日に日本学連事務局において監査を実施した結果、計算書類及び付属明細書並びに財産目録については正しく記載されており、法令・定款に違反する事項は存在しなかった旨、また、事業報告において法令・定款に違反する事項並びに不当な事実が存在しなかった旨の報告があった。

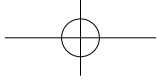
審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案【令和4年度会員入会の承認(正会員/名誉会員/普通会員)について】

永井純専務理事より資料に基づき、令和4年度会員入会(正会員/名誉会員/普通会員)の承認について提案があった。

前回理事会で承認された正会員に加え、会議日程の関係で提出の遅れていた関東学連枠23名の追加、また総務委員会枠において川上将平氏が退会/佐治由佳氏が入会となる。また関東学連枠の正会員を退会することになった藤田幸雄氏、木村登氏、大西暁志氏の3名を名誉会員に推薦する。

関東学連枠の正会員23名、名誉会員3名の定時社員総会推薦、普通会員16,693名について、審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。



第3号議案【令和4、5年度次期理事候補者、参与推薦について】

永井純専務理事より、資料に基づき令和4、5年度次期理事候補者、参与推薦について提案があった。

前回の理事会で承認された理事に加え、関東学連推薦理事候補3名(植田恭史氏、木下澄雄氏、日隈広至氏)、参与推薦者4名(伊東輝雄氏、栗山佳也氏、三條俊彦氏、外園隆氏)について審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

この際、以下の通り質疑応答があった。

(松本正之会長) 新しく参与となる4名はいつから任命となるか。

(永井純専務理事) 6月18日(土)の社員総会後となる。

(松本正之会長) 理事退任後に参与となるということか。

(永井純専務理事) その通りである。

第4号議案【令和4、5年度専門委員会委員について】

永井純専務理事及び大西清司事務局長より資料に基づき令和4、5年度専門委員会委員について提案があった。

前回の理事会で承認された委員に加え、財務委員会に八木新一郎氏、中松圭氏、競技委員会に古屋敷律希氏がそれぞれ入会、総務委員会の川上将平氏が退会となる。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第5号議案【定時社員総会の開催について】

永井純専務理事より資料に基づき定時社員総会の開催について提案があった。

6月18日(土)TKP新宿西口カンファレンスセンターにおいて対面にて開催する。協議事項については事業報告、決算承認、理事監事の任期満了に伴う改選に関する件、名誉会員の推薦について。報告事項は会務報告、令和4年度主催競技会について、WUGについて、その他。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第6号議案【第91回日本インカレ標準記録】および【第91回日本インカレ入場料金】

山下誠強化副委員長より資料に基づき第91回日本インカレ標準記録について提案があった。

昨年度より大幅に見直し、A標準では昨年のランキング30位相当、B標準では同ランキング50位相当となると設定している。長距離種目ではターゲットナンバーを設定し、タイムレース決勝になら

ないようにする。全体として短距離種目は引き上げ、長距離種目は引き下げとなっているが、いずれも前述の通り昨年のランキングをもとに設定した。

また資格記録の有効期間について、コロナ禍においては救済として2年間としていたが、本大会は例年通り1年間(2021年1月1日～2022年8月11日)とする。

続いて永井純専務理事より追加資料により第91回日本インカレ入場料金について値上げの提案があった。

第73回日本インカレのプログラムに「入場料1000円」が明記されており、少なくともここ20年ほどは入場料1000円であったと推測される。例年日本インカレは競技会収支として500万円～600万円の赤字を計上していたが、2020年(新潟)、2021年(熊谷)では赤字が1200万円を超えている(無観客開催のため入場料収入無し、場内映像等(E P)に関わる委託費用/ライブ配信等の経費/全国大会仕様競技運営機材のレンタル等の経費増、2020年～JSC助成金対象外)今後の大会運営経費が更に増えることを鑑み、収支の改善を図るため入場料金の値上げを提案するものである。

今回の審議で値上げすることに対して承認されれば、次の理事会までに総務委員会で金額等の検討を進めることになる。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

この際、以下の通り補足及び質疑応答があった。

【第91回日本インカレ標準記録】

(渋谷俊浩理事) 資格記録の有効期間は2021年の4月1日からか。

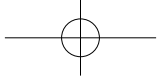
(山下誠強化副委員長) 2021年1月1日からである。

(渋谷俊浩理事) 標準記録案に「参加人数目安」とあるが、この人数を超えた場合はどうなるのか。

(山下誠強化副委員長) 目安の人数を超えた場合でも予選を組むことで対応する。ただし予選を行わない長距離種目ではターゲットナンバーを設定している。(渋谷俊浩理事) 標準記録案の注釈欄下から3点ある※印は「③長距離種目及び競歩については、競技運営の関係上、ターゲットナンバーを設定する。」にかかっているものか。

(山下誠強化副委員長) その通りである。

(黒須雅弘理事) リレーチームの資格記録について、既卒生がメンバーである記録でも資格記録となるか。



(公文こころ幹事長) 大会要項に「資格記録は2021、2022年度普通会員の編成によるチームの記録でなければならない」と記載をしているので、既卒生がメンバーである記録でも資格記録となる。

(松本正之会長) 公文幹事長の申し出の通り承認を実施するが、認識の共有をしてほしい。

(永井純専務理事) 山下誠強化副委員長は栗山佳也強化委員長らと連絡を取るようお願いする。

(山下誠強化副委員長) 承知した。

(5月16日(月))に栗山佳也強化委員長、山下誠強化副委員長、安井強化副委員長との協議で既卒生がメンバーである記録が資格記録となることを確認した。)

【第91回日本インカレ入場料金】

(松本正之会長) 仮に値上げして2000円とした場合、赤字は減るか。

(大西清司事務局長) 京都での日本インカレでは7000名～8000名ほどの入場を見込んでいる。入場料が単純に倍になると考えれば、収支はかなり改善されると思われる。

(木下澄雄理事) 関東インカレでは未就学児以外は入場料500円で運用していたが、今月開催される同大会より電子チケット1日1500円としている。ただし1500円のうちに電子チケットの業者手数料、更にチケットの販売手数料、国立競技場への支払い(10%)、関東学連の入場料収益は大変少なくなる。またコロナ禍において映像配信もしており、チケットの売り上げは想定ほど伸びていないという現状である。

(岡田晃総務副委員長) 入場料の値上げに伴い、販売方法等についても総務委員会にて検討中である。また電子チケットはかかる手数料があまりにも高すぎるため、日本インカレでは採用できないと考える。

第7号議案【FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/ 成都) 内定者の取り扱いについて】

永井純専務理事より資料に基づきWUG内定者の取り扱いについて提案があった。

4月15日(金)～17日(日)に開催された2022個人選手権においてWUG代表選手選考競技会を行い、17日(日)に最終的な選考会議を経て男子名女子名の合計41名を代表選手として内定した。JOCに提出する書類を整えていたが、5月6日(金)にFISUよりWUGを2023年に再延期するとの文書が届いたため、選考基本方針の「Ⅳ.その他 4.天災、その他の理由で本大会が延期となった場合は、内定を取り消す場

合がある。」を適用し、内定を取り消すこととなった。内定取り消しとなった選手については代表選手に内定していたことを証する文書を発行した。

本件については早急な手続きが必要であったことから事後報告となったことを了承されたい。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第8号議案【その他】

特になし

【報告事項】

①前回理事会以降の会務の報告

永井純専務理事より資料に基づき職務執行について報告があった。

②各主催大会等の状況について(資料なし)

永井純専務理事より各主催大会等の状況について報告があった。

- ・実学対抗：今回大会の担当は実業団連合となる。
- ・日本インカレ：京都開催に向けて関根競技委員長と伊東理事(京都陸協専務理事)において打ち合わせがなされている。また競技委員会と学生役員による関西インカレの視察が予定されている。
- ・出雲駅伝：5月19日(木)日本学連事務所にて打ち合わせ。
- ・女子駅伝：5月25日(水)に第1回実行委員会が開催される。

③その他

○2023年度第92回日本インカレ開催地について(候補地の検討)

永井純専務理事より資料に基づき2023年度第92回日本インカレ開催地として日産スタジアム(横浜市)が候補地として報告があった。J1チームのホームグラウンドであるため正式決定するのは12月となる。

○令和4年度便覧発行について

大西清司事務局長より令和4年度便覧発行について、今回は社員総会後の発行となるため6月下旬発行であるとの報告があった。

○その他

大西清司事務局長よりJSC基金助成(2022個人選手権)およびJSCくじ助成(陸上競技研究発行)の承認が下りたことについて報告があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17時53分、議長は閉会を宣し、解散した。

【概要】

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は、2021年度に入り、ワクチン接種の普及や諸々の対策により収束に向かうことを期待したが、変異株の出現など、引き続き感染症対策に迫られた1年となり、陸上競技界にも大きな影響を及ぼした。日本学生陸上競技連合の公益目的事業の柱である、競技会の開催については、1つの併催競技会を除き、ほぼ計画通りに実施し、大きな成果となった。国際大会への参加が困難な状況下、オリンピックが東京で57年ぶりに開催され、学生陸上競技界においては選手はもちろん、ボランティアとしての参加など、特筆すべき大会となった。残念なことに無観客となってしまったが、多くの学連関係者も参加し、競技会運営を支え、成功に導いたことは、今後のレガシーにも通ずるイベントとなった。

【公1ー競技会】

日本学連が主催する競技会について、長引くコロナ禍ではあったが、昨年からの感染症対策のノウハウも生かされ、昨年中止となった6月開催の日本学生陸上競技個人選手権大会、7月開催の実業団・学生対抗陸上競技大会、10月開催の出雲駅伝は2年ぶりの開催を果たした。天皇賜盃第90回日本インカレは、節目の大会として、埼玉県、熊谷市、埼玉陸上競技協会のご指導を得て、昨年に引き続き無観客ではあったものの無事開催、終了することができた。ただ、コロナ禍を配慮し、参加標準記録の緩和や記録の有効期間の延長などを行ったため、エントリーする選手が大幅増となり、運営に影響が生じたことは次回への反省材料となった。

全国のロードレースシーズン皮切りとなる出雲駅伝は、昨年の中止から本年は是非開催したいという地元の熱意の元、綿密な感染症対策を講じて開催にこぎつけた。地方開催においては大変難しい課題が多かったと想像するが、無事終了することができた。歓迎レセプション、さよならパーティーなど、人気のサブイベントは取りやめ、また、長年続いているI V Yリーグの招聘も断念した。10月31日開催の全日本大学女子駅伝、11月7日開催の全日本大学駅伝、12月30日開催の富士山女子駅伝の3つの駅伝は、沿道対策をはじめ、大会に関わる全ての方に対し、昨年と同様の感染症対策を講じ、無事終了することができた。

2022年は、延期となったF I S Uワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)の開催の年である。感染力が強いオミクロン株が猛威を振るう中、ロード種目の日本代表選手選考競技会の準備をおこなった。皮切りとなる3月13日開催の立川シティーハーフマラソン(日本学生ハーフマラソン選手権大会)は、今回初めて参加標準記録の設定を導入し、エントリー数の制限を実施した。選考は予定通り男子3名の日本代表選手を内定した。続く3月20日に予定していたまつえレディースハーフマラソン(日本学生女子ハーフマラソン選手権大会)は、コロナ感染症の影響で中止となったため、2022日本学生個人選手権10000mにおいて選考することとした。同じく3月20日開催の全日本能美競歩(日本学生20km競歩選手権大会)は予定通り開催し、男子3名の日本代表選手を内定した。

【公2ー育成】

育成事業においても新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年に引き続き事業の中止や変更が生じた。

毎年、日本陸連を通じて招聘される台北国際陸上競技大会、香港インターシティ、長距離選手の強化事業として派遣するオランダ/ナイメーヘン15kmロードレースへの派遣は中止とした。指導者会議については、本年度67回を数え、昨年に引き続き、Web会議システムにより実施した。テーマは、昨今、スポーツ庁が率先して進めているガバナンスコードに関連して、コンプライアンス研修として位置づけ、テーマは「指導者や競技者等のコンプライアンスについて考える」とした。

【公3ー調査研究】

調査研究事業においては、本年もtoto助成金交付の元、計画通り年4回の陸上競技研究の発行。共催の陸上競技学会については、オンラインの開催となった。

【法人管理部門】

令和3年度は、感染症対策の観点で、5月開催の第48回理事会、6月開催の定時社員総会については、ZOOMによるWeb会議を導入した。恒例の日本インカレ前に開催する理事会は熊谷市で開催、12月の第50回理事会は日本新記録章、日本学生新記録章の表彰も兼ね、都内の会議室にて開催した。本年度最終の第51回理事会は、コロナ感染症第6波の影響も懸念し、3月5日にWeb会議にて開催した。

日本学連の活動の中でも重要な立場にある学生役員のための第47回幹部役員研修会は、昨年に引き続き、コロナ感染症の影響でリモート開催となった。リアルな座学、討議、役員同士のふれあいや懇親の場を持てなかったことは残念な結果となった。来年は従来のリアルな研修会が実現できることを期待したい。

【普通会員の登録数】

令和3年度、普通会員登録者数は18,568名となった。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対前年2000名以上の大幅な減少があったが、令和3年度は約350名ほど増となり若干であるが回復を見た。まだまだコロナ禍の影響があると考えられるが、新型コロナウイルス感染症が収束し、再び20000名を超える登録になることを目指したい。

事業の詳細

(1)公1 〈競技会〉

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・競技者数	備考
1	2021日本学生陸上競技個人選手権大会	2021年 6月4日(金) ～6日(日)	レモンガススタジアム平塚 ※ハンマー投げ／相模原ギオンフィールド	男子18 女子18	97校…655名 99校…682名	大会新(7) 大会タイ(1) スポーツ振興基金助成金事業
2	(2021オールスターナイト陸上) 秩父宮賜杯 第61回実業団・学生対抗陸上競技大会	2021年 7月17日(土)	平塚市 レモンガススタジアム平塚	男子10 女子10	54名 54名 (オープン参加は含まず)	実業団235.5点男子117.5点女子118点 学生 163.5点男子82.5点女子81点 総合優勝チーム：秩父宮賜杯、内閣総理大臣杯 男子優勝チーム：文部科学大臣杯 女子優勝チーム：厚生労働大臣杯 日本最高(1) 女子メドレーリレー大会新(2)
3	天皇賜盃 第90回日本学生陸上競技対校選手権大会	2021年 9月17日(金) ～19日(日)	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	男子22 女子22	135校…1380名 116校…925名	男子優勝校 順天堂大学(86点) 女子優勝校 日本体育大学(93点) 日本学生新(3) 大会新(5)
4	第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2021年 10月10日(日)	出雲市 45.1km 6区間		国内…20チーム	優勝 東京国際大 2時間12分10秒 2位 青山学院大 2時間14分07秒 ※優勝チームには内閣総理大臣杯、文部科学大臣賞を授与
5	第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2021年 10月31日(日)	仙台市 38.0km 6区間		国内・25校＋1チーム(東北選抜)	優勝 名城大2時間02分59秒 (5年連続6回目) 2位 大東文化大 2時間05分35秒 ※優勝チーム：文部科学大臣杯を授与
6	秩父宮賜杯第53回全日本大学駅伝対校選手権大会	2021年 11月7日(日)	名古屋市～伊勢市 106.8km 8区間		国内・25校＋2チーム(東海選抜／全日本大学選抜)	優勝 駒沢大 5時間12分58秒 (2年連続14回目の優勝) 2位 青山学院大 5時間13分06秒
7	2021全日本大学女子選抜駅伝競走	2021年 12月30日(木)	富士市・富士宮市 43.4km 7区間		国内…22単独チーム＋全日本大学選抜＋静岡県選抜 計24チーム	優勝 名城大 2時間22分24秒 2位 大東文化大2時間25分22秒 ※優勝チーム：文部科学大臣杯を授与
8	第25回日本学生ハーフマラソン選手権大会 兼ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都) 日本代表選手選考競技会	2022年 3月13日(日)	立川市			優勝：平林清登(国学院大) 1.01.50 2位：中西大翔(国学院大) 1.02.02 3位：松山 和希(東洋大) 1.02.02
9	第16回日本学生20km競歩選手権大会 兼ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都) 日本代表選手選考競技会	2022年 3月20日(日)	能美市			男子優勝 古賀 友太(明治大) 1時間20分40秒 女子優勝 内藤未唯(神奈川大) 1時間35分51秒
10	第25回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 兼ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都) 日本代表選手選考競技会	2022年 3月20日(日)	松江市		中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
11	2021年日本学生記録年鑑の発行	2022年 3月31日発行			1000部発行	主催競技会の記録、2021年50傑、歴代10傑他

(2)公2 〈育成〉

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	秩父宮賜杯 第74回西日本学生陸上競技対校選手権大会	2021年 6月18日(金) ～20日(日)	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場	コロナ感染症の影響により中止
	第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会	2021年 7月3日(土) ～4日(日)	新潟市陸上競技場	日本学連が共催。 競技者育成を目的とし、補助金支給
2	日本学連栄章贈与式／諸記録章(日本学生新記録)	2021年 12月4日(土)	東京／新宿	【日本新記録章】泉谷駿介(順天堂大110mH)、三浦龍司(順天堂大3000mSC) 【日本学生新記録章】(男子) イェゴンヴィンセント(東京国際大5000m)、幸長慎一(四国大円盤投)、伊藤陸(近畿大工高専三段跳)、ワンジクチャールズカマウ(武蔵野学院大10000m)(女子) 小林成美(名城大10000m)、道下美楓(立教大1500m)、福岡大(4×100mR伊藤、兒玉、渡邊、城戸)、吉村怜美(大東文化大10000m)
3	2022クロカン日本選手権(日本学連共催)	2022年 2月23日(土)	福岡市／海の中道海浜公園男子12km、女子8km	男子最高：浦野 雄平(國學院大) 学生1位 連合杯獲得 ※29分18秒(日本選手権1位) 女子最高：和田 有菜(名城大) 学生1位 連合杯獲得 ※26分58秒(日本選手権2位)
4	第67回指導者会議	2022年 3月5日(土)	Web会議システム	Web会議システムにより実施。テーマは「指導者や競技者等のコンプライアンスについて考える」
5	東京マラソン2022選手推薦	2022年 3月6日(日)	東京	新型コロナウイルス感染症の影響によりエリート選手のみ推薦。
6	新規B級審判員資格認定		各地	講習会は地区学連が開催
7	ドーピング・コントロール・テスト	4回	各地	検査実施大会(日本学生個人、日本I・C、実・学生対抗陸上、全日本大学女子駅伝)
8	知っておきたい アンチ・ドーピングの知識2021発行	2021年1月1日	日本学連ホームページに公開	日本学連医事委員会編集

(3)公3 〈調査研究〉

No.	事業	期日・回数	場所	備考
1	2021年度日本陸上競技学会共催	2022年2月23日(水)	岩手大学	第20回大会
2	研究調査『陸上競技研究』の発行	年4回/125~128号		(ISSN 0919-9918) 日本学連調査研究委員会 2021/6/30、9/30 12/31、2022/3/31発行 ※スポーツ振興くじ助成金事業

(4)法人管理部門 〈組織力管理〉

No.	事業	期間・回数等	摘要
1	理事会の開催	4回	第48回(5月15日) 第49回(9月16日) 第50回(12月4日) 第51回(3月5日)
2	定時社員総会の開催	1回	第13回定時社員総会(6月12日)
3	会員の入会受付	2021年度	名誉会員40名 正会員135名 普通会員(学生)18,568名
4	公認競技会開催申請及び記録公認申請	2021年度	日本学連傘下の団体の公認競技会開催受付/日本陸連申請 日本学連傘下の団体の記録公認受付/日本陸連申請
5	会報の刊行	3回	各回1,000部 (名誉会員、正会員、役員、委員会委員 賛助会員 地区学連加盟校に配布) 5月、10月、1月
6	ホームページの運営・公開	随時	事業計画、事業報告、計算書類等の公開、競技会等に関する情報提供、等
7	2021学生役員会議	2021年12月4日(土)	1回開催(東京) 参加対象:各地区学連幹部学生役員
8	第47回学生幹部役員研修会	2022年3月4日(金)	オンラインシステムにて開催。参加対象:令和4年度各地区学連三役
9	学連情報の掲載	毎月	『月刊陸上競技』に掲載(各地区ヘッドコーチ、地区選出理事、専門委員長などが執筆)

資料

日本学生陸上競技連合正会員・名誉会員について

(1) 正会員

【関東学生陸上競技連盟推薦正会員について】

氏名	関東学連役職
1 有吉 正博	会長
2 植田 恭史	副会長
3 日隈 広至	副会長
4 岩壁 達男	顧問
5 吉儀 宏	顧問
6 永井 立子	顧問
7 青山 利春	参与
8 越川 一紀	参与
9 中島 剛	参与
10 渡部 誠	監事
11 上田 誠仁	駅伝対策委員長
12 藤坂 英二	総務委員長
13 木下 澄雄	財務委員長
14 外園 隆	財務委員
15 森永 正樹	強化副委員長
16 小山 裕三	評議員

17 大後 栄治	評議員
18 繁田 進	評議員
19 井筒 紫乃	評議員
20 片岡 典子	評議員
21 高橋 花奈	幹事長
22 月岡 葵梨香	副幹事長
23 児玉 玲奈	会計

【日本学連学識経験者正会員について】

(入会) 佐治 由佳 総務委員会/委員

(退会) 川上 将平 //

(2) 定時社員総会、名誉会員推薦について

- 藤田 幸雄: 昭和の時代から審判指導委員会委員として指導。
本連合理事、参与を歴任。正会員(〜2022年)
1932年生まれ 法政大学卒
- 木村 登: 1994年〜2022まで正会員、本連合理事、参与を歴任。
1934年生まれ 東海大学卒
- 大西 暁志: 昭和の時代から本連強化委員を歴任。
1988年〜2022まで正会員。1938年生まれ 東京教育大学卒

資料

令和4年度 専門委員会委員について

【入会】

(財務委員会)

- 八木 新一郎(やぎ しんいちろう)
勤務先: 三菱電機プラントエンジニアリング
備考: 昭和60年度日本学連幹事長(早稲田大学卒)
- 中松 圭(なかつ けい)
勤務先: 国際鍼灸専門学校
備考: ADK勤務時代に全日本大学駅伝、全日本大学女子駅伝
担当。関西大学卒/全日本大学駅伝に選手として出場

(競技委員会)

- 古屋敷 律希(こやしき りつき)
備考: 令和3年度日本学連幹事長(日本体育大学卒)
小学校教員

【退会】

(総務委員会)

- 川上 将平(かわかみ しょうへい)
一身上の都合による。

資料

令和4年度-令和5年度 理事候補者リスト/参与推薦者

※理事・監事候補者は2022年6月18日(土)開催の定時社員総会に提案

関東学連推薦理事候補について

NO	氏 名	略歴・備考	重任／新任	当法人との利害関係
14	植田 恭史	関東学生陸上競技連盟選出理事候補 関東学生陸上競技連盟副会長	重任	なし
15	木下 澄雄	関東学生陸上競技連盟選出理事候補 関東学生陸上競技連盟財務委員長	重任	なし
16	日隈 広至	関東学生陸上競技連盟選出理事候補 関東学生陸上競技連盟副会長	重任	なし

【参考】前回理事会において定時社員総会への推薦確定となった役員一覧

【学識経験者等推薦11名】

1	有吉 正博	令和2年6月～当法人代表理事／副会長 ※平成28年4月～関東学生陸上競技連盟会長	重任	なし
2	岡崎 朋美	令和2年6月～当法人理事 ※令和元年4月～聖徳大学客員教授 ※1994年リレハンメルオリンピック～5回連続出場(スケート)	重任	なし
3	蒲原 一之	平成24年4月～当法人理事 平成22年4月～当法人医事委員長 ※スポーツドクター 内科医師	重任	なし
4	工藤 洋治	令和2年6月～当法人理事 ※日本陸上競技連盟法制委員会副委員長 ※本法人法務担当 弁護士	重任	なし
5	小林 聖子	日本パラリンピック委員会 理事 ※弁護士/スポーツ法学会会員 ※1999年度競泳世界ランキング(200m背泳ぎ)7位	新任	なし
6	障子 恵	平成30年6月～当法人理事 平成28年4月～当法人総務委員会委員長	重任	なし
7	関根 春幸	平成26年6月～当法人理事 平成28年6月～当法人常務理事 平成26年4月～当法人競技委員長	重任	なし
8	永井 純	平成24年5月～当法人理事 平成26年6月～当法人専務理事 令和2年6月～当法人専務理事兼副会長	重任	なし
9	松本 正之	平成29年3月～当法人理事 平成29年3月～当法人会長／代表理事	重任	なし
10	安井 年文	平成30年4月～当法人強化委員会副委員長 平成24年4月～当法人調査研究委員会委員長 ※関東学生陸上競技連盟強化委員長	新任	なし
11	山下 誠	平成28年6月～当法人理事 令和02年6月～当法人常務理事 平成30年4月～当法人強化委員会副委員長	重任	なし

【地区学連推薦11名】

12	杉山 喜一	北海道学生陸上競技連盟選出理事候補 北海道学生陸上競技連盟副会長	重任	なし
13	長澤 光雄	東北学生陸上競技連盟選出理事候補 東北学生陸上競技連盟会長	重任	なし
17	福島 洋樹	北信越学生陸上競技連盟選出理事候補 北信越学生陸上競技連盟ヘッドコーチ	新任	なし
18	黒須 雅弘	東海学生陸上競技連盟選出理事候補 東海学生陸上競技連盟ヘッドコーチ	重任	なし
19	小倉 幸雄	関西学生陸上競技連盟選出理事候補 関西学生陸上競技連盟ヘッドコーチ	新任	なし
20	北井 敏雄	関西学生陸上競技連盟選出理事候補 関西学生陸上競技連盟副会長	新任	なし
21	鶴崎 健一	中国・四国学生陸上競技連盟選出理事候補 中国・四国学生陸上競技連盟ヘッドコーチ	重任	なし
22	片平 誠人	九州学生陸上競技連盟選出理事候補 九州学生陸上競技連盟ヘッドコーチ	重任	なし

令和4年度-令和5年度 監事候補者リスト

NO	氏 名	略歴・備考	重任／新任	当法人との利害関係
1	細萱 智大	令和2年6月～当法人監事	重任	なし
2	山本 俊樹	平成26年6月～当法人監事	重任	なし

令和4年度～ 参与推薦者 規程：本連合理事又は監事を3期以上務めたもの又は理事会の推薦を受けたもの。

NO	氏 名	略歴・備考
1	伊東 輝雄	関西選出／2008年～理事
2	栗山 佳也	関西／連合学識経験者選出／2006年～理事
3	三條 俊彦	北信越選出／2002年～理事
4	外園 隆	連合学識経験者選出／2012～理事

資料

第14回定時社員総会開催について

【協議事項】 ※3月5日(土)開催の理事会において、開催日時は承認済み

1 第14回定時社員総会招集の件

①日 時：令和4年6月18日(土)14:00～

②場 所：TKP新宿西口カンファレンスセンター

東京都新宿区西新宿1丁目10-1ヨドバシ新宿西口駅前ビル8階

2 「第14回社員総会に出席しない社員は、書面または電磁的方法によって議決権を行使することができないこととする。」件

定時社員総会予定議題

【協議事項】

第1号議案 令和3年度(第10期)事業報告・決算承認の件(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第2号議案 理事の任期満了に伴う改選に関する件

第3号議案 監事の任期満了に伴う改選に関する件

第4号議案 名誉会員の推薦について

第5号議案 その他

【報告事項】

①前回定時社員総会(令和3年6月)以降の会務報告

②令和4年度日本学連主催競技会の状況について

③FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)について

④その他

資料

2022年 天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 標準記録(案)

男子					女子				
種目	A標準	B標準	参加人数目安	C標準※	種目	A標準	B標準	参加人数目安	C標準※
100m ※	10.39	10.50	50	地区インカレ 北日本インカレ 西日本インカレ の優勝者	100m ※	11.90	12.10	50	地区インカレ 北日本インカレ 西日本インカレ の優勝者
200m ※	20.92	21.20			200m ※	24.52	25.00		
400m ※	47.20	47.50			400m ※	55.90	56.80		
800m	1.50.5	1.52.0			800m	2.11.0	2.13.5		
1500m	3.48.0	3.51.0	50		1500m	4.27.0	4.30.5	50	
5000m	13.50.0	14.00.0	TN30		5000m	16.05.0	16.20.0	TN30	
10000m	28.45.0	29.15.0			10000m	34.00.0	34.40.0		
110mH ※	14.05	14.30	30		110mH ※	13.77	14.10	30	
400mH ※	51.25	52.00			400mH ※	60.40	61.90		
3000mSC	8.55.0	9.01.0	TN20		3000mSC	10.30.0	10.55.0	TN20	
4 × 100mR ※		40.85	50・32		4 × 100mR ※		47.60	50・32	
4 × 400 m R ※		3.15.30	50・32		4 × 400 m R ※		3.54.00	50・32	
10000mW	42.00.0	10000 m W 42.30.0	TN25		10000mW	50.30.0	10000 m W 51.30.0	TN25	
		20 km W 1.28.00					20 km W 1.46.00		
走高跳	2.13	2.10	30		走高跳	1.73	1.70	30	
棒高跳	5.20	5.10			棒高跳	3.80	3.70		
走幅跳 2p	7.65	7.51			走幅跳 2p	5.95	5.85		
三段跳 2p	15.65	15.40			三段跳 2p	12.50	12.30		
砲丸投	15.50	14.80	30		砲丸投	13.80	13.00	30	
円盤投	48.00	45.00			円盤投	46.00	42.00		
ハンマー投	60.50	57.50			ハンマー投	54.00	51.50		
やり投	69.50	66.00			やり投	51.50	46.00		
十種競技	6900	6650	25	七種競技	4950	4750	25		

■ TN ターゲットナンバー

(注) ①十種競技については、棒高跳3m以上の実績のあるものとする。

②「※」を付した種目については、電気計時による記録のみ有効とする。

※「※」を付した種目以外で電気計時による記録を使用したい場合、100分の1の記録が「00」のみ有効とする。

③長距離種目及び競歩については、競技運営の関係上、ターゲットナンバーを設定する。

※10000mWの換算は、WAのスコアリングテーブルを活用する。

※ターゲットナンバーは、標準記録Cの突破者を除いた人数とする。ただし、3000mSCに限り、標準記録Cの突破者を含む。

※当該地区において標準記録A、Bによるエントリーがなかった場合に、標準記録Cによるエントリーが行える。

18 会議報告

資料

FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都) 日本代表選手・役員一覧

開催期日 2022年6月26日(日)～7月7日(木) 陸上競技:6月30日(木)～7月5日(火)

◇選手 合計41名(男子24名 女子17名)

◇スタッフ

性別	種目	氏名	フリガナ	所属
男子	100m	鈴木 涼太	スズキ リョウタ	スズキ(城西大卒)
	100m	稲毛 碧	イナゲ アオイ	早稲田大学
	200m	三浦 励央奈	ミウラ レオナ	早稲田大学
	200m	上山 紘輝	ウエヤマ コウキ	住友電工(近畿大卒)
	400m	岩崎 立来	イワサキ リュウキ	大阪体育大学
	800m	松本 純弥	マツモト ジュンヤ	法政大学
	800m	金子 魅玖人	カネコ ミクト	中央大学
	1500m	飯澤 千翔	イザワ カスト	東海大学
	10000m	葛西 潤	カサイ ジュン	創価大学
	10000m	嶋津 雄大	シマヅ ユウダイ	創価大学
	ハーフマラソン	平林 清澄	ヒラバヤシ キョト	國學院大学
	ハーフマラソン	中西 大翔	ナカニシ タイガ	國學院大学
	ハーフマラソン	松山 和希	マツヤマ カズキ	東洋大学
	20kmW	古賀 友太	コガ ユウタ	大塚製薬(明治大卒)
	20kmW	石田 昂	イシダ スバル	自衛隊体育学校(立命館大卒)
	20kmW	萬壽 春輝	マンジュ ハルキ	順天堂大学
	110mH	横地 大雅	ヨコチ タイガ	法政大学
	400mH	山本 竜大	ヤマモト タツヒロ	SEKI A.C.(日本大大学院修了)
	走幅跳	吉田 弘道	ヨシダ ヒロミチ	神崎郡陸協(立命館大卒)
	走幅跳	伊藤 陸	イトウ リク	近畿大工業高専
	棒高跳	柄澤 智哉	カラサワ トモヤ	日本体育大学
	棒高跳	尾崎 駿翔	オザキ シュント	ROOTSTOKYO(日本体育大卒)
	円盤投	幸長 慎一	ユキナガ シンイチ	四国大学 AC(四国大学大学院修了)
女子	十種競技	田上 駿	タウエ シュン	陸上競技物語(順天堂大学院修了)
	100m	青山 華依	アオヤマ ハナエ	甲南大学
	100m	兒玉 芽生	コダマ メイ	ミズノ(福岡大卒)
	200m	青野 朱李	アオノ シュリ	山梨学院大学
	200m	齋藤 愛美	サイトウ アミ	大阪成蹊 AC(大阪成蹊大卒)
	5000m	山本 有真	ヤマモト ユマ	名城大学
	5000m	山崎 りさ	ヤマザキ リサ	日本体育大学
	10000m	小林 成美	コバヤシ ナルミ	名城大学
	10000m	小松 優衣	コマツ ユイ	松山大学
	ハーフマラソン	北川 星瑠	キタガワ ヒカル	大阪芸術大学
	ハーフマラソン	永長 里緒	エイナガ リオ	大阪学院大学
	ハーフマラソン	山賀 瑞穂	ヤマガ ミズホ	大東文化大学
	100mH	玉置 菜々子	タマオキ ナナコ	国士館大学
	3000mSC	吉村 玲美	ヨシムラ レイミ	大東文化大学
	円盤投	齋藤 真希	サイトウ マキ	東京女子体育大学
	やり投	武本 紗栄	タケモト サエ	佐賀スポーツ協会(大阪体育大卒)
	やり投	山元 祐季	ヤマモト ユウキ	九州共立大学
	七種競技	大玉 華鈴	オオタマ カリン	日体大 SMG 横浜(日本体育大卒)

	役割	氏名	所属
1	チームリーダー 長距離コーチ	山下 誠	玉川大学
2	監督 短距離・ハードルコーチ	安井 年文	青山学院大学
3	総務 長距離コーチ	米田 勝朗	名城大学
4	副総務 跳躍コーチ	青木 和浩	順天堂大学
5	短距離コーチ	伊東 浩司	甲南大学
6	短距離コーチ	遠藤 俊典	青山学院大学
7	長距離コーチ	大後 栄治	神奈川大学
8	長距離・競歩 コーチ	酒井 俊幸	東洋大学
9	跳躍コーチ	小林 史明	日本体育大学
10	投てきコーチ	佐々木 大志	東京女子体育大学
11	ドクター	蒲原 一之	日本スポーツ振興センター
12	トレーナー	松尾 信之介	大阪学院大学
13	トレーナー	矢嶋 友美	T.S Serve Trainer Team
14	トレーナー	小泉 渉	ケッツトレーナー
15	長距離コーチ アディショナル	前田 康弘	國學院大学

※正式には、JOC 理事会の承認を受けて決定となる。

※選考要項のIIの3に記載のとおり、別種目でもメダル獲得または入賞が期待される代表選手は、上記種目に加えて、別種目にもエントリーする場合がある。

※選考要項のIVの1に記載のとおり、故障などのために代表を取り消した場合に、エントリー締切り前であるときは、別の競技者(同一種目とは限らない)を代表選手として追加選考することがある。

資料

執行役員による職務執行の状況報告(3/5以降)

月 日	行 事 (報告内容)
3月 5日(土)	第51回理事会 (オンライン会議)
3月 6日(日)	東京マラソン/学生エリート派遣 (於:東京)
3月10日(木)	JOC/第3回 WUG 事務説明会 (オンライン会議)
3月13日(日)	第25回日本学生ハーフマラソン選手権大会(於:立川市)
3月14日(月)	富士山女子駅伝実行委員会(オンラインで出席)
3月14日(月)	日本学生個人選手権運営打ち合わせ会議(オンライン会議)
3月15日(火)	WUG 基幹役員等打ち合わせ会議(オンライン会議)
3月19日(土)	WUG 基幹役員等打ち合わせ会議(オンライン会議)
3月19日(土) ～20日(日)	第16回日本学生20km 競歩選手権大会(於:能美市)
3月23日(水)	日本学生個人選手権/資格審査(於:日本学連事務所)
3月24日(木)	富士山女子駅伝 会計監査(於:日本学連事務所)
3月25日(木)	日本学生個人選手権/番組編成会議(於:日本学連事務所)
3月27日(日)	東海大学競技会/学生審判研修(於:レモンガスタジアム)
3月30日(水)	日本学生個人選手権/湘南ケーブルTV 打合会議
3月30日(水)	日本学生個人選手権/神奈川陸協打合会議(於:神奈川陸協事務所)
4月 2日(土)	日本学生個人選手権審判主任会議(於:小田原)

月 日	行 事 (報告内容)
4月 6日(水)	日本学生個人選手権/競技委員会-報道部会議(於:日本学連事務所)
4月14日(木) ～17日(日)	2022日本学生個人選手権大会【於:平塚市】
4月17日(日)	WUG(2021/成都)日本代表選手選考会議(於:平塚市/グランドホテル神奈中)
4月18日(月)	第52回理事会(オンライン会議)
4月20日(水)	全日本大学駅伝打ち合わせ会議(オンライン会議)
4月21日(水)	富士山女子駅伝実行委員会(オンラインで出席)
4月22日(木)	WUG 選手・役員JOC最終登録(推薦確定申請)
4月25日(月)	財務委員会 (於:日本学連事務所及びオンライン併催)
4月27日(水)	令和3年度会計監査(於:日本学連事務所)
4月28日(水)	JOC/第4回 WUG 事務説明会 (オンライン会議)
4月28日(水)	全日本大学女子駅伝/読売新聞社打ち合わせ会議(於:日本学連事務所)
4月28日(木)	競技委員会(於:日本学連事務所及びオンライン併催)
5月 9日(月)	企画委員会(於:日本学連事務所)
5月10日(火)	全日本大学女子駅伝コース検討会議(於:日本学連事務所及びオンライン併催)
5月11日(水)	全日本大学駅伝/小委員会/代表者会議(オンライン会議)
5月14日(土)	第52回理事会(オンライン会議)

資料

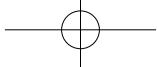
正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	700	3,500	△2,800
基本財産受取利息	700	3,500	△2,800
特定資産運用益	1,732	8,220	△6,488
特定資産受取利息	1,732	8,220	△6,488
受取会費	36,019,600	35,523,800	495,800
正会員受取会費	675,000	675,000	0
普通会员受取会費	33,420,600	32,806,800	613,800
賛助会員受取会費	1,150,000	1,220,000	△70,000
陸上研究誌受取会費	774,000	822,000	△48,000
事業収益	50,718,326	41,790,275	8,928,051
受取協賛金	23,631,396	17,589,905	6,041,491
受取放映料	17,600,000	17,600,000	0
受取参加料	8,191,600	4,679,000	3,512,600
受取広告料	1,166,000	1,672,000	△506,000
入場料等売上	129,330	249,370	△120,040
受取補助金等	6,912,460	11,521,764	△4,609,304
受取助成金	6,712,460	11,521,764	△4,809,304
受取補助金	200,000	0	200,000
受取負担金	4,756,000	4,600,000	156,000
受取負担金	4,756,000	4,600,000	156,000
雑収益	581,130	852,659	△271,529
受取利息	689	568	121
雑収益	580,441	852,091	△271,650
経常収益計	98,989,948	94,300,218	4,689,730
(2) 経常費用			
事業費	93,348,680	82,818,491	10,530,189
給料手当	8,472,000	8,480,000	△8,000
臨時雇賃金	295,200	316,800	△21,600
退職給付費用	480,000	480,000	0
賞与引当金繰入額	769,600	769,600	0
福利厚生費	1,682,407	1,707,798	△25,391
会議費	1,801,492	1,698,530	102,962
旅費交通費	21,407,023	16,170,346	5,236,677
通信運搬費	3,267,251	2,128,336	1,138,915
消耗品費	2,268,604	1,668,638	599,966
備品費	397,254	220,805	176,449
印刷製本費	8,458,007	7,430,791	1,027,216
光熱水料費	82,787	75,221	7,566
食糧費	3,200,753	1,202,040	1,998,713
賃借料	9,090,805	10,452,779	△1,361,974
リース料	319,459	164,190	155,269
諸謝金	979,550	901,700	77,850
表彰費	1,341,494	2,441,202	△1,099,708

科目	当年度	前年度	増減
渉外費	42,500	32,932	9,568
委託費	8,566,580	10,075,019	△1,508,439
租税公課	1,264,120	1,445,728	△181,608
支払負担金	18,254,070	12,648,116	5,605,954
雑費	907,724	2,307,920	△1,400,196
管理費	5,758,494	5,588,702	169,792
給料手当	2,118,000	2,120,000	△2,000
臨時雇賃金	73,800	79,200	△5,400
退職給付費用	120,000	120,000	0
賞与引当金繰入額	192,400	192,400	0
福利厚生費	420,601	426,949	△6,348
会議費	147,266	147,867	△601
旅費交通費	156,680	97,194	59,486
通信運搬費	544,150	477,880	66,270
消耗品費	6,094	3,439	2,655
備品費	243,478	135,331	108,147
印刷製本費	351,793	260,128	91,665
光熱水料費	82,790	75,222	7,568
賃借料	709,063	747,281	△38,218
リース料	79,863	41,046	38,817
渉外費	36,430	28,180	8,250
委託費	85,081	54,257	30,824
租税公課	316,030	361,432	△45,402
支払負担金	0	109,044	△109,044
雑費	74,975	111,852	△36,877
経常費用計	99,107,174	88,407,193	10,699,981
評価損益等調整前当期経常増減額	△117,226	5,893,025	△6,010,251
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△117,226	5,893,025	△6,010,251
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△117,226	5,893,025	△6,010,251
一般正味財産期首残高	153,586,990	147,693,965	5,893,025
一般正味財産期末残高	153,469,764	153,586,990	△117,226
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	163,469,764	163,586,990	△117,226



資料

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	109,643,906	105,195,517	4,448,389
未収金	4,569,460	4,420,264	149,196
仮払金	1,124,410	1,149,541	△25,131
流動資産合計	115,337,776	110,765,322	4,572,454
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
秩父宮妃記念基金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,800,000	6,200,000	600,000
賞与引当資産	962,000	962,000	0
ユニバーシアード派遣事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
国際交流積立資産	8,000,000	8,000,000	0
日本インカレ90回記念大会積立資産	0	3,100,000	△3,100,000
競技会事業積立資産	32,000,000	32,000,000	0
世界大学クロスカントリー派遣積立資産	4,000,000	4,000,000	0
海外ロードレース遠征積立資産	3,300,000	3,300,000	0
創立100周年積立資産	2,500,000	2,000,000	500,000
特定資産合計	62,562,000	64,562,000	△2,000,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	56,000	56,000	0
その他固定資産合計	56,000	56,000	0
固定資産合計	97,618,000	99,618,000	△2,000,000
資産合計	212,955,776	210,383,322	2,572,454
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	344,121	1,985,326	△1,641,205
預り金	41,379,891	37,649,006	3,730,885
賞与引当金	962,000	962,000	0
流動負債合計	42,686,012	40,596,332	2,089,680
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,800,000	6,200,000	600,000
固定負債合計	6,800,000	6,200,000	600,000
負債合計	49,486,012	46,796,332	2,689,680
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	10,000,000	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	153,469,764	153,586,990	△117,226
(うち基本財産への充当額)	25,000,000	25,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	55,762,000	58,362,000	△2,600,000
正味財産合計	163,469,764	163,586,990	△117,226
負債及び正味財産合計	212,955,776	210,383,322	2,572,454

資料

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業					法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1	公2	公3	共通	小 計	法人会計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	350	350	350	0	700
基本財産受取利息	0	0	0	350	350	350	0	700
特定資産運用益	0	0	0	866	866	866	0	1,732
特定資産受取利息	0	0	0	866	866	866	0	1,732
受取会費	0	0	774,000	17,622,800	18,396,800	17,622,800	0	36,019,600
正会員受取会費	0	0	0	337,500	337,500	337,500	0	675,000
普通会員受取会費	0	0	0	16,710,300	16,710,300	16,710,300	0	33,420,600
賛助会員受取会費	0	0	0	575,000	575,000	575,000	0	1,150,000
陸上競技研究誌受取会費	0	0	774,000	0	774,000	0	0	774,000
事業収益	47,418,326	3,300,000	0	0	50,718,326	0	0	50,718,326
受取協賛金	20,331,396	3,300,000	0	0	23,631,396	0	0	23,631,396
受取放映権料	17,600,000	0	0	0	17,600,000	0	0	17,600,000
受取参加料	8,191,600	0	0	0	8,191,600	0	0	8,191,600
受取広告料	1,166,000	0	0	0	1,166,000	0	0	1,166,000
入場料等売上	129,330	0	0	0	129,330	0	0	129,330
受取補助金等	3,777,460	0	2,935,000	200,000	6,912,460	0	0	6,912,460
受取助成金	3,777,460	0	2,935,000	0	6,712,460	0	0	6,712,460
受取補助金	0	0	0	200,000	200,000	0	0	200,000
受取負担金	4,756,000	0	0	0	4,756,000	0	0	4,756,000
受取負担金	4,756,000	0	0	0	4,756,000	0	0	4,756,000
雑収益	256,370	0	0	324,760	581,130	0	0	581,130
受取利息	0	0	0	689	689	0	0	689
雑収益	256,370	0	0	324,071	580,441	0	0	580,441
経常収益計	56,208,156	3,300,000	3,709,000	18,148,776	81,365,932	17,624,016	0	98,989,948
(2) 経常費用								
事業費	75,690,081	10,402,403	7,256,196	0	93,348,680	0	0	93,348,680
給料手当	6,883,500	1,059,000	529,500	0	8,472,000	0	0	8,472,000
臨時雇用賃金	239,850	36,900	18,450	0	295,200	0	0	295,200
退職給付費用	390,000	60,000	30,000	0	480,000	0	0	480,000
賞与引当金繰入額	625,300	96,200	48,100	0	769,600	0	0	769,600
福利厚生費	1,366,957	210,300	105,150	0	1,682,407	0	0	1,682,407
会議費	1,182,975	559,611	58,906	0	1,801,492	0	0	1,801,492
旅費交通費	20,160,752	1,220,158	26,113	0	21,407,023	0	0	21,407,023
通信運搬費	2,075,261	439,962	752,028	0	3,267,251	0	0	3,267,251
消耗品費	2,217,234	50,152	1,218	0	2,268,604	0	0	2,268,604
備品費	140,961	256,293	0	0	397,254	0	0	397,254
印刷製本費	6,361,743	95,943	2,000,321	0	8,458,007	0	0	8,458,007
水道光熱費	57,951	24,836	0	0	82,787	0	0	82,787
食糧費	3,200,753	0	0	0	3,200,753	0	0	3,200,753
賃借料	8,357,743	685,792	47,270	0	9,090,805	0	0	9,090,805
リース費	63,890	255,569	0	0	319,459	0	0	319,459
諸謝金	620,000	40,000	319,550	0	979,550	0	0	979,550
表彰費	1,164,636	176,858	0	0	1,341,494	0	0	1,341,494
渉外費	25,098	10,116	7,286	0	42,500	0	0	42,500
委託費	5,287,902	225,112	3,053,566	0	8,566,580	0	0	8,566,580
租税公課	1,264,120	0	0	0	1,264,120	0	0	1,264,120
支払負担金	13,204,070	4,800,000	250,000	0	18,254,070	0	0	18,254,070
雑費	799,385	99,601	8,738	0	907,724	0	0	907,724
管理費	0	0	0	0	0	5,758,494	0	5,758,494
給料手当	0	0	0	0	0	2,118,000	0	2,118,000
臨時雇用賃金	0	0	0	0	0	73,800	0	73,800
退職給付手当	0	0	0	0	0	120,000	0	120,000
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	192,400	0	192,400
福利厚生費	0	0	0	0	0	420,601	0	420,601
会議費	0	0	0	0	0	147,266	0	147,266
旅費交通費	0	0	0	0	0	156,680	0	156,680
通信運搬費	0	0	0	0	0	544,150	0	544,150
消耗品費	0	0	0	0	0	6,094	0	6,094
備品費	0	0	0	0	0	243,478	0	243,478
印刷製本費	0	0	0	0	0	351,793	0	351,793
光熱水料費	0	0	0	0	0	82,790	0	82,790
賃借料	0	0	0	0	0	709,063	0	709,063
リース料	0	0	0	0	0	79,863	0	79,863
渉外費	0	0	0	0	0	36,430	0	36,430
委託費	0	0	0	0	0	85,081	0	85,081
租税公課	0	0	0	0	0	316,030	0	316,030
雑費	0	0	0	0	0	74,975	0	74,975
経常費用計	75,690,081	10,402,403	7,256,196	0	93,348,680	5,758,494	0	99,107,174
評価損益等調整前当期経常増減額	-19,481,925	-7,102,403	-3,547,196	18,148,776	-11,982,748	11,865,522	0	-117,226
評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-19,481,925	-7,102,403	-3,547,196	18,148,776	-11,982,748	11,865,522	0	-117,226
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-19,481,925	-7,102,403	-3,547,196	18,148,776	-11,982,748	11,865,522	0	-117,226
一般正味財産期首残高	-85,284,162	-73,556,307	-31,076,654	237,453,990	47,536,867	106,050,123	0	153,586,990
一般正味財産期末残高	-104,766,087	-80,658,710	-34,623,850	255,602,766	35,554,119	117,915,645	0	153,469,764
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高	-104,766,087	-80,658,710	-34,623,850	265,602,766	45,554,119	117,915,645	0	163,469,764

資料

財産目録 令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	44,659
	預金	普通預金		80,228,752
		三井住友銀行渋谷支店	運転資金として	63,617,983
		三井住友銀行渋谷支店8900029		15,834,776
		三井住友銀行渋谷支店8976649		143,537
		三井住友銀行渋谷支店9065238		632,456
		定期預金		23,000,000
	三井住友銀行渋谷支店 定期20932		23,000,000	
	振替貯金		6,370,495	
	渋谷千駄ヶ谷郵便局	運転資金として	6,370,495	
未収金			4,569,460	
仮払金			1,124,410	
流動資産合計			115,337,776	
(固定資産)	基本財産			35,000,000
	定期預金			25,000,000
特定資産	三井住友銀行渋谷支店 定期20932	公益目的保有財産である 法人運営財源として使用	12,500,000	
	三井住友銀行渋谷支店 定期20932		12,500,000	
	秩父宮妃記念基金	公益目的保有財産である	10,000,000	
	三井住友銀行渋谷支店 定期20932		10,000,000	
			62,562,000	
	退職給付引当資産		6,800,000	
	三井住友銀行渋谷支店 定期327127		6,800,000	
	賞与引当資産		962,000	
	三井住友銀行渋谷支店 普通9065249		962,000	
	ユニバーシアード派遣事業積立資産		5,000,000	
三井住友銀行渋谷支店 定期327138		5,000,000		
国際交流引当資産		8,000,000		
三井住友銀行渋谷支店 定期20932		8,000,000		
競技会事業引当資産	公益目的保有財産である	32,000,000		
三井住友銀行渋谷支店 定期20932		32,000,000		
世界大学クロスカントリー遠征積立資産		4,000,000		
三井住友銀行渋谷支店 定期327161		4,000,000		
海外ロードレース遠征積立資産		3,300,000		
三井住友銀行渋谷支店 定期327116		3,300,000		
創立100周年事業積立資産		2,500,000		
三井住友銀行渋谷支店 定期327149		2,500,000		
その他固定資産			56,000	
	電話加入権	公益目的事業に供している 法人運営に供している	28,000	
	電話加入権		28,000	
固定資産合計			97,618,000	
資産合計			212,955,776	
(流動負債)	未払金		344,121	
	預り金		41,379,891	
	賞与引当金		962,000	
	流動負債合計		42,686,012	
(固定負債)	退職給付引当金		6,800,000	
固定負債合計			6,800,000	
負債合計			49,486,012	
正味財産			163,469,764	

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第14回定時社員総会 議事録

1. 開催された日時

令和4年6月18日(土)14時00分から15時14分まで

2. 開催された場所

TKP新宿西口カンファレンスセンター8E

3. 正会員総数及び定数

現在数135名、定足数68名

4. 出席正会員数 122名

(本人出席)39名 (委任出席)83名

(欠席)13名

(出席理事)有吉 正博、伊東 輝雄、植田 恭史、
片平 誠人、蒲原 一之、木下 澄雄、
工藤 洋治、栗山 佳也、黒須 雅弘、
三條 俊彦、渋谷 俊浩、障子 恵、
杉山 喜一、関根 春幸、鶴崎 健一、
永井 純、長澤 光雄、日隈 広至、
松本 正之、山下 誠 以上20名

(出席監事)細萱 智大、山本 俊樹

(欠席理事)岡崎 朋美、外園 隆

5. 議題

【協議事項】

第1号議案：令和3年度(2021年度/第10期)事業・決算報告(案)について

第2号議案：理事の任期満了に伴う改選に関する件

第3号議案：監事の任期満了に伴う改選に関する件

第4号議案：2022年度名誉会員について

第5号議案：その他

【報告事項】

①前回定時社員総会(令和3年6月)以降の会務報告

②令和4年度日本学連主催競技会の状況について

③FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)について

④その他

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を確認した。

(2)議長及び議事録署名人の選出

定款第4章第16条第1項に基づき、松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は、定款第4章第20条第2項に基づき、松本正之会長ならびに、出席した正会員のうちから議長が指名した鎌倉光男会員及び河野匠会員となった。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案：令和3年度(2021年度/第10期)事業・決算報告(案)について

永井純専務理事より令和3年度事業及び決算報告について提案があり、始めに資料に基づき令和3年度事業報告について説明があった。

公1の競技会開催について、日本学生個人選手権、実業団・学生対抗、出雲駅伝は2年ぶりの開催を果たした。第90回日本インカレは埼玉県、熊谷市、埼玉県陸上競技協会の指導を得て開催することができた。出雲駅伝は昨年中止したこともあり、ぜひ開催したいという地元の熱意により再開した。感染症対策の一環で、歓迎パーティー、さよならパーティーは実施せず、行事を縮小して開催した。全日本大学女子駅伝、全日本大学駅伝、富士山女子駅伝も感染症対策に重点を置き、無事終了した。

日本学生ハーフマラソン選手権大会(立川ハーフマラソンと併催)はエントリー数に制限を設けて実施し、FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)(以下WUG)の内定者3名が決定。松江レディースハーフマラソンは新型コロナウイルスの影響で中止となったため、WUGの代表選手を日本学生個人選手権10000mで選考した。

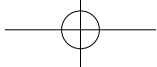
全日本能美競歩は予定通り開催し、男子3名がWUGの代表選手に内定した。

公2の育成事業について、海外派遣事業(台北、香港、ナイメーヘン)については新型コロナの影響で派遣を中止した。指導者会議はテーマを「指導者や競技者等のコンプライアンスについて考える」として、Zoomによるリモートにて開催した。

公3の調査研究事業について、陸上競技研究誌をtoto助成金の支給を受け、予定通り年4回発行した。令和4年度からは年3回の発行となる。

法人管理部門について、感染症対策の観点で、第48回理事会、定時社員総会についてはZoomによるオンラインにて会議を開催。第49回理事会は熊谷市にて対面で開催した。第50回理事会は日本新記録章、日本学生新記録章の栄章の贈与式も兼ね、対面で開催した。3月5日に開催した第51回理事会はオンラインにて実施した。

日本学連の活動の中でも重要な立場にある学生役員のための第47回幹部役員研修会は、昨年に引き続きオ



ンラインでの開催となった。リアルな座学、討議、役員同士のふれあいや懇親の場を持てなかったことは残念である。

続いて大西清司事務局長より資料に基づき令和3年度収支決算について説明があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

第2号議案：理事の任期満了に伴う改選に関する件

永井純専務理事より令和4年度及び5年度の理事について提案があった。

冒頭、役員の構成について説明があった。理事候補者リストにそって、経歴等の説明の後、一人ずつ審議し、意見を求めた。

その結果、承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

審議の順番は次の通り。有吉正博、岡崎朋美、蒲原一之、工藤洋治、小林聖子、障子恵、関根春幸、永井純、松本正之、安井年文、山下誠 以上学識経験者。地区学連推薦として杉山喜一、長澤光雄、植田恭史、木下澄雄、日隈広至、福島洋樹、黒須雅弘、小倉幸雄、北井敏雄、鶴崎健一、片平誠人 各候補者合計22名

第3号議案：監事の任期満了に伴う改選に関する件

永井純専務理事より令和4年度及び5年度の監事候補について提案があった。

監事候補として、最初に細萱智大氏を審議し、承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

次に山本俊樹氏が提案され、承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

第4号議案：2022年度名誉会員について

名誉会員の新規加入について永井純専務理事より資料に基づき提案があった。

令和4年度、藤田幸雄、木村登、大西暁志の3氏が正会員を退会されたことから、名誉会員へ推薦。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

【報告事項】

①前回定時社員総会（令和3年6月）以降の会務報告（資料なし）

永井専務理事から一年間の会務報告について、11の専門委員会による主な活動状況について報告があった。

②令和4年度日本学連主催競技会の状況について

永井専務理事より資料に基づき以下の競技会について報告があった。

- ・4月開催、2022日本学生陸上競技個人選手権大会
- ・8月開催（2022オールスターナイト陸上）秩父宮賜杯第60回実業団・学生対抗陸上競技大会
- ・9月天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会

- ・10月10日開催第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走
- ・10月30日開催第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
- ・11月6日開催秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会
- ・12月30日開催2022全日本大学女子選抜駅伝競走
- ・2023年2月、日本選手権クロスカントリー（日本学連共催）について、TBS系列による生中継が今年度大会からなくなることが報告された。
- ・第26回日本学生ハーフマラソン選手権大会、第26回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会、第17回日本学生20km競歩選手権大会はそれぞれ併催として、地元の大会にお世話になるが、再延期されたワールドユニバーシティゲームズの選考会として開催する
- ③FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）について（資料なし）
永井専務理事より、本年度に延期されたFISUワールドユニバーシティゲームズが2023年へ再延期された経緯について以下の通り説明があった。
- ・3月13日に第25回日本学生ハーフマラソン（立川市）で男子3名に内定を出した。
- ・第16回日本学生20km競歩選手権大会（能美市）でも3名に内定を出した。同日開催予定であった第25回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（松江市）が中止となり、日本学生陸上競技個人選手権10000mで女子ハーフマラソンの代表を決めた。
- ・4月17日夕刻から選考委員会を開催し、男子24名、女子17名を選考、18日に開催した理事会において正式に内定した。
- ・しかし、内定をリリースした後、3名の選手が世界陸上との兼ね合いのため辞退。理由は、成都への渡航において、組織委員会が設定するチャーター便が確定せず、世界陸上の渡航計画が組めないため。緊急に再度選考委員会を開催し、3名を補充した。
- ・5月6日（金）にJOCを介してWUGの開催延期通知を受けた。
- ・企画委員会を開催し、選考要項のその他「4.天災、その他の理由で本大会が延期となった場合は内定を取り消す場合がある。」の条項をもとに内定を取り消す方針を決定した。来年度にあたっては、現在の学部卒業1年目、大学院修了1年目も選考対象にするようJOCと協議する。内定した選手には内定証明書を発行した。
- ・2023年度以降の主な競技会で開催期日が決定しているものを掲載したので参考にしてもらいたい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時14分、議長は閉会を宣し、解散した。

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第54回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和4年6月18日(土) 15時00分から17時02分まで

2. 開催場所

TKP新宿西口カンファレンスセンター 8E

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 20名

(出席) 有吉 正博、植田 恭史、小倉 幸雄、
片平 誠人、蒲原 一之、北井 敏雄、
木下 澄雄、工藤 洋治、黒須 雅弘、
障子 恵、杉山 喜一、関根 春幸、
鶴崎 健一、永井 純、長澤 光雄、
日隈 広至、福島 洋樹、松本 正之、
安井 年文、山下 誠

(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹

(欠席) 岡崎 朋美、小林 聖子

5. 議題

【協議事項】

第1号議案：代表理事・業務執行理事の選任及び会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について

第2号議案：第91回日本インカレ入場料金/競技日程について

第3号議案：第91回日本インカレ実行委員会について

第4号議案：第40回全日本大学女子駅伝の出場枠の変更について

第5号議案：北海道学連、東北学連 正会員/役職の交代について

第6号議案：その他

【報告事項】

①出雲全日本大学駅伝IVYリーグの招聘について

②令和4年度主催競技会理事派遣計画(案)

③その他

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を確認した。

(2)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案：【代表理事・業務執行理事の選任及び会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について】

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

続いて、松本正之代表理事/会長より、代表理事/副会長に有吉正博理事、副会長兼専務理事に永井純理事、常務理事に工藤洋治理事、関根春幸理事、山下誠理事が推薦された。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

次に大西清司事務局長から、令和4年度から新任となった理事5名の紹介があり、出席した4名の理事(安井年文理事、福島洋樹理事、北井敏雄理事、小倉幸雄理事)より自己紹介があった。

2号議案に入る前に、松本議長を選出し、議事録署名人を定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事とした。

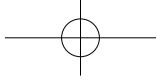
第2号議案：【第91回日本インカレ入場料金/競技日程について】

永井純専務理事より資料に基づき、第91回日本インカレ入場料金/競技日程について提案があった。

日本インカレの収支は赤字が常態化しており、特に一昨年、昨年の大会は無観客開催で入場料収入がなく、両大会とも1200万円を超える大きな赤字となった。長い間、値上げがなかったこと、近年では大会運営のための機器借用等で経費がかさんでいることから2000円への値上げを提案したい。(高校生以下と日本学連登録者を除く)。

障子恵総務委員長から総務委員会の意見として補足説明があった。

各主要競技会の入場料と比較したうえで、機器のレンタルや新型コロナウイルス感染症対策費も考慮、500円硬貨などコインを極力扱わないことも考え、2000円が妥当である。プログラム印刷も収支としては厳しい状況となっているが、値上げはせず、当面の間1000円としたい。今後の検討課題としたい。まずは有観客での競技会が再開したことを楽しんでもらえ



るようにしたい。

チケットの複数日同時購入による割引についても検討したが、当日販売を担当するのが学生補助員であり、お金を扱う責任が生じるため、割引はしない。各大学への事前のチケット販売は5枚につき1枚サービス（現状維持）としたい。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

この際、以下の質疑応答があった。

（長澤理事）前回理事会ではプログラムは1000円だと赤字になり、印刷すればするほど赤字になるという意見があった。観客にいきわたる数を用意できるのか。

（障子理事）プログラムの配分は競技役員、審判、大学への配布を優先する。観客分は販売となるが不足することが無いよう用意する予定。

ネットによる記録配信の普及もあり、プログラムの価値を考えると購入数が減ることも考えられるため今後の課題としたい。

関根競技委員長より競技日程について提案があった。

京都陸協より、京都は、暑さが厳しいことから、より安全な大会運営のため、10000m、ハンマー投げを9月8日（木）夕刻に実施できないかという提案があったことに對し、大会要項によって日程が確定し、周知されていること、各チームの負担、運営スタッフの負担を考慮し、予定通り3日間開催で行いたい。

10000mは9月9日（金）の19時前後の開始、ハンマー投は9日の朝、フィールドの最初の種目として行うことを検討しており、6月22日の競技委員会で詳細をつめて、強化委員会の意見を伺い決定したい。

永井専務理事より、9月8日（木）に2種目を実施することについて、第91回日本インカレ実行委員会を立ち上げるので、その中で検討し、京都陸協、競技委員会、総務委員会、強化委員会などとも意見を交換し決定することを提案。

出席理事全員一致で可決した。

この際、以下の質疑応答があった。

（北井理事）関西インカレ開催時、日本インカレ準備のためのミーティングを行った際、京都陸協から高齢の競技役員が多いため、暑い中、過密なスケジュールで行うことは避けたく、集中力がある時に行うことで事故を防止したいとの意見があった。以前にハンマー投において補助員が投てき物に接触しそうなことがあったので、安全面に心配がある。

（永井専務理事）既に日程を公表しているため簡単には変更できない。平日に競技を行うことはかえって京都陸協の先生方に負担があるのではないか。

（北井理事）京都陸協の競技役員は、退職した先生が多いため、木曜日の実施についてご負担をかけることはない。理事会の決定事項にはもちろん従うが、可能であれば、前日夕刻に10000m、及びハンマー投げを検討してほしい。

（関根常務理事）既に理事会の承認を経て3日間開催が決定している状況において、日程を覆す理由にははならない。3日間で最大のパフォーマンスができるように努めたい。

（安井理事）以前から4日間の開催を求めている。選手の安全面からも考慮してもらいたい。特に短距離選手は3日間で多くのレースに出場することもあり、肉離れなどのけがをしていることも事実である。以前から強化委員会内では4日間開催を求める声が上がっている。

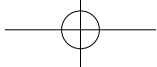
（関根常務理事）京都の開催について、これから4日間開催にして種目を分散して実施することは考えていない。1日目に2種目のみを行うかどうかの議論であり、論点が違うのではないか。以前に4日間開催を実施したが、大学にも金銭的負担があり、3日間開催に戻した経緯がある。4日間開催についての議論については、今後の理事会を通じて検討していけば良いのではないか。

（永井専務理事）このタイミングで2種目実施を木曜日へ変更してしまうとなし崩しの懸念がある。

（黒須理事）参考として、岐阜大会ではリレー種目を木曜日に行うなど、4日間開催という設定をした経緯があるが、どういう理由で3日間に戻したか確認したい。

（大西事務局長）4日間開催については、過去、検討委員会を立ち上げたり、理事へアンケートを実施したりした経緯がある。川崎、岐阜の大会では3.5日、4日間開催を実施したが、大会運営面において、様々な課題が出てきた。4日間開催は理想的かもしれないが、現実論として、第1に競技役員確保の問題、次に経費の問題もあり、多くの関係者から意見をいただき、3日間開催の日程で理事会が決定した。

（蒲原理事）暑いことが理由として挙げられているが、熱中症の心配があるのは、10000mよりも10000m競歩である。日程において、より配慮が必要なのは競歩である。



(関根理事) 競歩は、比較的涼しい時間に行うことを考えており女子は2日目の19時、男子は3日目の9時の実施を考えている。

第3号議案：【第91回日本インカレ実行委員会について】(資料なし)

永井純専務理事より、第91回日本インカレの開催に向けて各委員会、関西学連、京都陸協から人選し、実行委員会を組織する提案があった。メンバーは専務理事一任としたい。

出席理事全員一致で可決した

尚、協議内容は主に運営に関わることであるが、必要により理事への報告を行う。

この際、以下の質疑応答があった。

(工藤常務理事) 3日間開催の日程について、木曜日から実施するといった変更の場合は理事会の承認が必要だが、3日間の開催であれば特に理事会の開催は不要である。

第4号議案：【第40回全日本大学女子駅伝の出場枠の変更について】

永井純専務理事より資料に基づき第40回全日本大学女子駅伝の出場枠の変更について提案があった。

九州学連の選考会において2チームを選考するところ、エントリーが1チームのみだったため、選考会は実施せず、1枠を返上したい旨の報告があった。九州学連の成績枠は1チームとし、5000mの記録による選出枠を4チームから5チームに増やすことを提案した。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

その際、以下の質疑応答があった。

(工藤常務理事) 来年以降も同様の事例が懸念されるのではないかと。

(永井専務理事) 今年度はこの方法論しかない。

(工藤常務理事) 1チームが強い地区については枠を与えても編成ができない等の懸念が今後懸念される。今後のために、今回の事例を想定した文言を作る必要性がある。

(永井専務理事) 来年以降の大会要項作成や選考における課題としたい。

第5号議案：【北海道学連、東北学連 正会員/役職の交代について】

杉山理事より北海道学連の変更について、長澤理事より東北学連の変更について説明があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第6号議案：【その他】

特になし

【報告事項】

①出雲全日本大学駅伝IVYリーグの招聘について

(資料なし)

永井純専務理事より出雲市と協議があったことが報告された。

吉村国際委員長からIVYリーグのジャック氏に連絡を取り、日本の状況を理解してもらい、今年の招聘は難しい旨伝えた。IVYリーグ側は、今後また選手派遣の要望があれば対応できるよう準備したいとのことであった。

②令和4年度理事派遣計画について

永井純専務理事より理事監事の主催競技会派遣計画について報告があった。

③その他

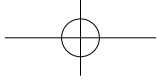
○全日本大学駅伝・関西学連選考について

関東学連はテレビ朝日によるインターネットでのライブ配信を毎年行っているが、今年度は関西学連も同様にインターネットでの配信を行う予定。

○記録申請と審判員について(関根競技委員長)

WAのルールとして、ワールドランキングポイントの対象の記録は、今後、WRKに申請されたものが対象となる。そのため、開催2、3ヵ月前の競技会申請が必要になる。審判員については、WAの試験をパスした審判員が必要であると報告された。詳細は今後WAのカウンシル会議で決定され、情報が出てくると思われるので、地区学連とも共有したい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17時02分、議長は閉会を宣し、解散した。



競技委員会より

天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会を終えて

競技委員会 委員長 関根 春幸

第91回日本インカレが大きなトラブルもなく終了したことについて、京都陸上競技協会や関西学連の皆様のご協力に感謝申し上げます。過密な競技日程でしたが関西学連の学生審判員の素晴らしい活躍でこの大会を乗り切れました。本当にありがとうございました。また、たくさんの学生が競技役員、補助員、ボランティアとして大会運営に関わっていただけたこと、学生の大会ならではと感じています。この伝統をこれからも後輩の学生に伝えてもらいたいと思います。

さて、今年の大会は昨年、熊谷で開催された大会よりもさらに多くの学生が出場しました。多くの学生が出場することにより、いろいろな競技運営上の問題が発生しました。大会開催の前日のサブトラックでの練習では多くの選手が集まり、ジョギングもできないほどの混雑になりました。また、混成競技では控室が手狭でどうしようもない状態になりました。そういったトラブルを学生幹事の知恵とアイデアで乗り切った大会でもありました。学生幹事の皆さん、お疲れさまでした。

大会を運営するにあたり、この大会をどのような大会にしていけるのか、見直しが必要な時期に来ているのかも

しれません。全国から多くの選手を集めて学生のチャンピオンを決め、総合力の高い大学を決める大会にするのか。大学というカテゴリーの中でトップレベルの競技者を集め、質の高い競技会、競技会としてレベルの高いものを目指していくのか。どちらの方向を目指すのかによって、大会の運営方法は異なります。2023年1月から世界陸連のランキングポイント制度の対象となる大会も変わってきます。日本の学生たちが高いレベルを維持し、いろいろな大会で活躍できるよう応援したいものです。

最後に大会を運営するにあたり、学生競技者や大学関係者に協力してほしいことをお願いします。まだまだ新型コロナウイルス感染症が収まりません。応援は声を出さずにまた、競技中や練習中以外ではできるだけマスクを着用してください。いまやマナーとなっています。競技は我々だけではできません。周囲の皆さんの理解があってできるものです。特に、これからは駅伝シーズンに入ります。我々の競技会での姿勢が問われています。もう一度、このあたりも見直して競技会にご参加いただければと思います。

総務委員会より

天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会における大会運営について

総務委員会 委員長 障子 恵

4月に開催した個人選手権に引き続き、本大会も3年ぶりに有観客で開催しました。初日から2,000名を超える方が入場券をご購入くださり、普通会员（各大学陸上部員）、中高生を含め、総来場者数は推定29,000人を超えました。無観客で行った第89回大会、第90回大会とは異なり、本大会は、観客の大きな拍手による応援が選手を後押しする、活気溢れる競技会になりました。

有観客で開催するにあたり、感染防止対策を施しつつ、出場選手が最高のパフォーマンスを発揮でき、また、安心、安全な競技運営ができるよう、以下について検討し、当日に臨みました。

1. 入場者管理

コロナ禍第7波下での有料試合であることから、不正入場ゼロを目指して厳格な入場チェックを行いました。選手・スタッフ以外の来場者には、検温後、手首へのリストバンド着用を義務化し、スタンド入口にてID、リストバンドの確認を行いました。しかし、IDやリストバンドを他人に貸す学生・大学関係者もいたため、第2日目から、入場時にID・会員登録証と学生証等による本人確認を急遽実施しました。

2. 迷惑撮影防止ならびに場外整備

撮影で使うデジタルカメラ、一眼レフ、ビデオカメラ等の申請を義務化するとともに、撮影場所を限定しました。

係員が定期的に巡回していますが、残念ながら迷惑撮影の気配があったのも事実です。撮影機能が付いた望遠鏡の登場も、非常に悩ましい問題です。明らかに撮影規制エリアで撮影したと思われる写真のインターネット流出を確認しており、撮影ならびに映像の取り扱いに関するガイドラインの作成を、今後検討したいと思います。そのほか、密集した状況下でマスクをしない、大声で声援するなど、競技役員が注意しても従わないモラルに欠ける行動も見受けられたことは残念でした。

3. パブリシティの充実

本大会では、あすリートチャンネルにてほぼ全種目の模様をLIVE配信しました。長距離種目においては、山梨学院大学の上田誠仁監督に解説していただきました。参考までに、最もアクセス数が集中したのは、女子5000mでした。また、リレー方式による優勝者メッセージもSNSにアップしています。一方で、本連合が許可していない映像の流出も確認しており、こちらも今後の大きな課題となりました。

本連合が主催する競技会は学生主体の運営であり、本大会も学生幹事、学生審判員、学生補助員の頑張りが大会の成功に導いたと言っても過言ではありません。早朝6時半から閉門後の21時まで、本当によく頑張ったと思います。

次回大会では、特徴ある各大学の応援合戦ができる環境であることを祈っております。

令和4年 日本学生陸上競技連合

会員について(2022年度)

令和4年4月28日現在

正会員 135名

普通会員 16,693名

賛助会員 7名

日本学生陸上競技連合 普通会員の各月変遷

単位：人

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	月合計
年度前	228	443	6363	584	1209	2771	1204	826	13,628
4月	240	208	884	215	188	548	301	482	3,066
5月									0
6月									0
7月									0
8月									0
9月									0
10月									0
11月									0
12月									0
二重登録									0
退会者			-1						-1
合計	468	651	7246	799	1397	3319	1505	1308	16,693

【参考：普通会員数の推移】

単位：人

年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2022	468	651	7,246	799	1,397	3,319	1,505	1,308	16,693	-1,872 ↓	-4,090	-1,481
2021	560	890	7,883	915	1,667	3,517	1,654	1,479	18,565	391 ↑	-2,132	687
2020	556	896	7,704	914	1,610	3,419	1,600	1,475	18,174	-2,122 ↓	-1,916	933
2019	702	979	8,373	996	1,938	3,764	1,787	1,757	20,296	-446 ↓	840	3,444
2018	726	1,017	8,487	1,024	2,073	3,808	1,832	1,775	20,742	-41 ↓	2,168	4,085
2017	749	973	8,588	1,009	2,098	3,758	1,853	1,755	20,783	86 ↑	2,609	4,450
2016	756	933	8,578	1,009	2,088	3,689	1,884	1,760	20,697	607 ↑	2,819	4,483
2015	705	943	8,221	1,021	2,007	3,547	1,904	1,742	20,090	634 ↑	2,849	4,269
2014	680	929	7,981	965	1,936	3,507	1,843	1,615	19,456	882 ↑	2,604	4,230
2013	628	914	7,547	903	1,835	3,383	1,781	1,583	18,574	400 ↑	1,917	3,991
2012	640	910	7,273	832	1,826	3,360	1,736	1,597	18,174	296 ↑	1,841	3,969
2011	711	933	7,065	834	1,756	3,236	1,723	1,620	17,878	637 ↑	1,664	3,929
2010	688	919	6,792	821	1,686	3,106	1,653	1,576	17,241	389 ↑	1,420	3,374
2009	715	878	6,641	879	1,611	3,000	1,630	1,498	16,852	195 ↑	1,626	2,920
2008	754	952	6,626	822	1,480	2,923	1,598	1,502	16,657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6,497	799	1,426	2,870	1,520	1,593	16,333	119 ↑	2,128	
2006	651	1,005	6,452	743	1,493	2,829	1,471	1,570	16,214	393 ↑	2,265	
2005	636	1,041	6,258	763	1,429	2,728	1,441	1,525	15,821	595 ↑	1,954	
2004	599	984	6,118	751	1,321	2,605	1,410	1,438	15,226	643 ↑	1,294	
2003	587	885	5,864	749	1,257	2,519	1,311	1,411	14,583	378 ↑		
2002	604	841	5,663	755	1,184	2,478	1,259	1,421	14,205			

2022年度	男子	女子	合計	前年比	比率(%)
北海道	372	96	468	-92	2.8
東北	489	162	651	-239	3.9
関東	5,609	1,637	7,246	-635	43.4
北信越	634	165	799	-116	4.8
東海	1,012	385	1,397	-270	8.4
関西	2,338	981	3,319	-189	19.9
中国四国	1,142	363	1,505	-149	9.0
九州	989	319	1,308	-171	7.8
全体	12,585	4,108	16,693	-1861	

2021年度	男子	女子	合計
北海道	440	120	560
東北	664	226	890
関東	6,051	1,830	7,881
北信越	729	186	915
東海	1,203	464	1,667
関西	2,482	1,026	3,508
中国四国	1,253	401	1,654
九州	1,122	357	1,479
全体	13,944	4,610	18,554

令和4年度 賛助会員

(9月30日現在 五十音順、敬称略)

ご入会ありがとうございました

浅見美弥子	阿保 雅行	石黒 成彬	入江 毅	金子今朝秋	黒岩 重幸
桑原 美代	小池 七郎	河野 洋平	櫻井 孝次	田中 淳浩	豊岡 示朗
	藤井 英嘉	丸山 敦夫	山崎 健	米谷 元捷	

賛助会員募集中

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉賛助会員 ￥10,000 (1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があります、年度内(3月31日)まで有効となります。

※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

〈特典〉・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

〈入会手続きについて〉

①申込書(個人・団体)に必要事項を記入し、本法人へ郵送又はFAXしてください。



②本法人の指定銀行口座へ、年会費をお振込み願います。



③ご入金が確認でき次第、本法人の賛助会員として登録させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

〔発行所〕公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

編集後記

会報165号をお届けいたします。8月6日にレモンガスタジアム平塚で実業団・学生対抗が開催されました。前半では学生チームが上位に食い込み健闘していたものの、国際大会等の経験豊富な実業団チームの壁が高く、本年は惜しくも6点差で実業団チームに敗北しました。

9月9日～11日まで第91回日本インカレが京都のたけびしスタジアム京都で開催されました。京都では69年ぶりの開催となりました。コロナ禍の影響でここ2年間は無観客で行いましたが、感染対策および熱中症対策に十分配慮し、他競技団体と同じく有観客での開催となりました。その結果、男子は順天堂大学が昨年に続いて優勝を飾り、天皇賜盃を獲得。女子では日本体育大学が同じく昨年に続き優勝を飾り、秩父宮妃杯を獲得しました。

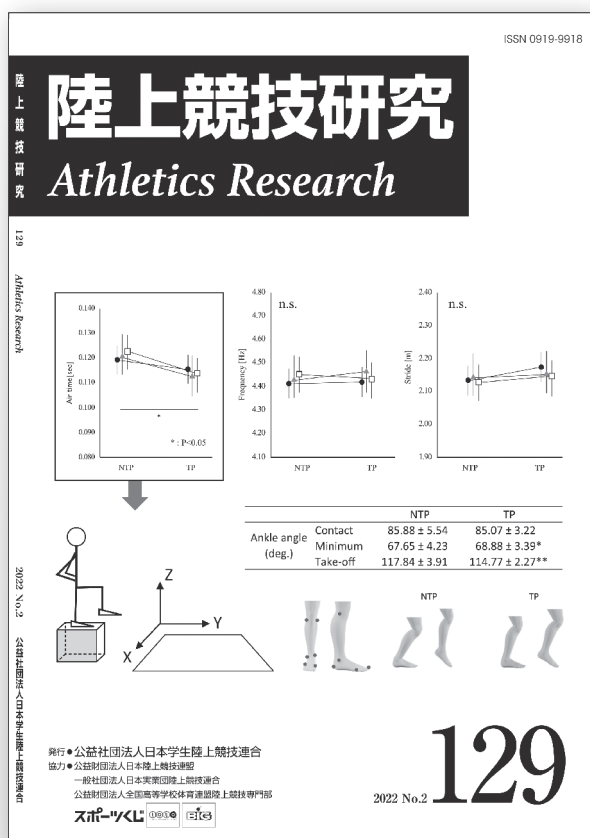
日本インカレに先立ち9月8日には第55回理事会が開催されました。内容は、2023年(令和5年)度の主催競技会のカレンダーについての協議などです。ロードでの競技会の

日程は確定しましたが、トラック&フィールドの日程が開催都道府県陸協の協力、競技場の確保、アジア選手権、ワールドユニバーシティゲームズ、世界陸上、アジア大会等の関係で調整中となりました。今後、日程・競技場の確保に努めてまいります。

2回続けて延期になりましたFISUワールドユニバーシティゲームズ(中国・成都)(ユニバーシアード競技大会から改称)が2023年7月28日～8月8日に開催されます。基幹役員などを決めました。また、2023年度からの登録方法について説明を受けました。

日本インカレが終了し、これからはロードシーズンに入ります。10月10日に出雲全日本大学選抜駅伝競走、10月30日に全日本大学女子駅伝対校選手権大会、11月6日に全日本大学駅伝対校選手権大会、12月30日に全日本大学女子選抜駅伝競走と続きます。今後とも会員皆さまの協力をお願いいたします。(副会長/専務理事 永井 純)

「陸上競技研究」購読のご案内



第 129 号
2022, No. 2
2022 年 6 月発行



公益社団法人 日本学生陸上競技連合は機関研究誌『陸上競技研究』を発行しています。
購読会員として入会ご希望の方は、年会費 (6,000 円) を下記へ郵便振替にてご送金ください。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名 (株)陸上競技社 陸上競技研究

通信欄に「何号から 1 年間」と必ず明記してください。

バックナンバーについては(株)陸上競技社 (TEL03-5215-8881) にお問い合わせください。

(株) 陸上競技社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-6 TEL. 03(5215)8881 FAX.03(5215)8882 <http://www.rikujyokogyo.co.jp>